

別 冊

教科用図書の採択について

新潟市教育委員会

目次	<p>第2 付議事件</p> <p>議案第12号 2019年度使用 新潟市立小学校用教科用図書の採択について…… 1</p> <p>議案第13号 2019年度使用 新潟市立中学校用教科用図書の採択について…… 65</p> <p>議案第14号 2019年度使用 新潟市立高志中等教育学校前期課程用 教科用図書の採択について…… 79</p> <p>議案第15号 2019年度使用 新潟市立特別支援学校・特別支援学級用 教科用図書（一般図書）の採択について…… 83</p>
----	--

議案第 1 2 号

2019 年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について

2019 年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳以外）並びに新潟市立小学校用教科用図書（道徳）の採択について，議決を求める。

平成 3 0 年 7 月 3 0 日

新潟市教育委員会
教育長 前田 秀子

平成30年7月9日

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子 様

2019年度使用教科用図書審議委員会

委員長 鈴木 虎(印)

2019年度使用教科用図書に関する資料について（答申）

このことについて、下記観点からの研究結果に基づき慎重に審議した結果、2019年度に新潟市の小学校で使用する道徳を除いた教科用図書及び市立中学校・中等教育学校で使用する道徳教科用図書及び一般図書（特別支援学校・学級用）を採択する際に参考となる資料について、別紙のとおり、答申いたします。

記

ア 小学校教科用図書（道徳以外）について

- ① 新学習指導要領の目標や内容等を十分に踏まえたこと。
- ② 新潟市における学校教育の課題や重点を踏まえたこと。
- ③ 各教科用図書の特徴が明瞭になるように、内容の選択、扱い方、表現等の観点から比較研究を行ったこと。その際、県教育委員会が提供する「教科用図書研究資料」を参酌したこと。

イ 中学校道徳教科用図書について

- ① 新学習指導要領の目標や内容等を十分に踏まえたこと。
- ② 新潟市における学校教育の課題や重点を踏まえたこと。
- ③ 道徳教科用図書の特徴が明瞭になるように、内容の選択、扱い方、程度、表現等の観点から比較研究を行ったこと。その際、県教育委員会が提供する「教科用図書研究資料」を参酌したこと。

ウ 特別支援学校・学級における一般図書について

教科の主たる教材としての内容を具備し、教育上適切であると判断され、障がいの程度を十分に踏まえたこと。その際、県教育委員会が提供する「研究資料」を参酌したこと。

小学校教科用図書（道徳以外）

（答申）

2019 年度使用教科用図書審議委員会

小学校部会報告

1 調査員による研究経過について

(1) 調査員の打合せ会

平成30年6月8日（金）午後1時30分から、新潟市役所分館会議室において、小学校（道徳以外）の調査員による2019年度使用教科用図書調査員打合せ会が開催された。

全体会では、教科用図書採択に関する基本方針，諮問内容の確認，調査研究業務遂行における基本的な心構え，研究報告書及び作業日程の説明等がなされた。

部会では，調査研究の観点や作業日程等，今後の調査研究の推進について話し合い，確認し合った。

(2) 調査研究

小学校部会では，一人一人の委員が調査研究の観点を基に調査・研究を進めるとともに，計画に基づいて部会を開き，委員間で積極的に意見を交換し合い，検討結果を調査研究報告書としてまとめた。

2 調査研究の結果について

調査研究の結果は，別紙報告書のとおりである。

調査研究に当たって，重視した考え方や理由等は，概ね次のとおりである。

学習指導要領の目標に照らすとともに，「新潟市の学校教育」の「確かな学力の向上」で掲げる「基礎的・基本的な知識技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成，学ぶ意欲の喚起を図る教科指導の推進」にふさわしい内容・編集であるか，「主体的・対話的で深い学び」のある授業を行うのに適している内容・編集であるか，次の観点から調査・検討した。

(1) 内容面

- ① ねらいを達成するのにふさわしい教材である。
- ② 児童が主体的に学び，思考力・判断力・表現力を伸ばすために工夫されている内容である。

(2) 構成・編集

- ① 単元・題材の構成や配列が工夫され教材がバランスよく配置されている。
- ② 児童の興味・関心を喚起したり，思考を助けたりできるように，写真やイラスト，図，資料等を工夫し，発達段階に応じて編集されている。
- ③ 言語活動や問題解決的な学習が効果的に取り扱われている。

平成31年度使用小学校教科用図書研究報告

国 語

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の5種である。

2 東書 11学図 15三省堂 17教出 38光村

2 「国語」の教科書研究の観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市小学校の「国語」指導における課題・重点から

新潟市の学習指導における重要課題は「基礎的・基本的な内容の確実な定着」であり、これは基礎教科である「国語」において最も重要である。小学校段階では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの領域において、子どもの関心・意欲を引き出しながら一人一人に基礎的・基本的な内容を身に付けさせていくことが大切である。

また、思考力・判断力・表現力等を伸ばすために、「書く活動」の工夫など言語活動を充実させていくことも求められている。低学年から「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を工夫して指導することが必要である。

さらに、「新潟市の授業づくり」リーフレットで求められている授業づくりの視点に基づいて授業が展開できる単元や学習活動の工夫が不可欠である。

① 単元構成と配列

・単元の数や内容的な内訳、単元構成の仕方に見られる特徴 など

② 教材選択と構成

・取り上げた教材の内容や構成の仕方に見られる特徴 など

③ 学習過程への配慮

・「基礎的・基本的内容の確実な定着」を意図して工夫されている点
・思考力・判断力・表現力を伸ばすために工夫されている点
・課題提示や学習の見通し、振り返り等、学習活動について工夫されている点

など

④ 入門期の特徴

・入門期のとらえ方、配慮事項 など

⑤ 伝統的な言語文化

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の教材に見られる特徴 など

(2) その他・資料

・巻末資料、本文中に使用されている挿絵や図表などに見られる特徴
・誰もが学びやすい構成や紙面作りへの配慮 など

(3) 全体的な特徴

・以上の観点から見た結果を総合してのそれぞれの教科書の特徴

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書	(1)－① 単元構成と配列 (1)－② 教材選択と構成 (1)－③ 学習過程への 配慮 (1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生上巻は入門期の配列，下巻は5単元で構成している。2～4年生は上巻4単元，下巻5単元での構成。5・6年生は分冊はなく1冊9単元で構成されている。 ・ 「話すこと・聞くこと」では，具体的な話し方やメモの取り方の例が示してある。 ・ 「書くこと」では，全学年で物語を創作する学習活動が設定されている。 ・ 2年生以上の学年の冒頭の折り込みに，1年間の学習の見通しがもてるよう，教材の位置付けと流れを示している。 ・ 「国語ノートの作り方」という学習ページが，2年生以上の各学年に設けられている。 ・ 「つながる」欄「ひろがる」欄には，既習事項との関連，他教科や学校生活等での活用例が示されている。 ・ 冒頭教材「みんなのせかい」は，会話を想像したり何をしているのかを予想させたりする教材で，8ページで構成されている。
書名	(1)－⑤ 伝統的な 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な言語文化は，「日本の言の葉」として，各学年に2単元（1年生は1単元）を配置している。 ・ 「日本語のしらべ」として，各学年で四季に関する詩や短歌，俳句などが紹介されている。
新編・新しい国語	(2) 資料・その他 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付録「言葉の世界」は前小口が茶色で区別されている。 ・ 「本は友達」には，著名人が読書の楽しさを述べた文章が掲載されている。 ・ てびきには，学習の目的や単元を貫く言語活動が明示されている。てびきの最後には，評価項目が載せてあり，児童自身が評価できるようになっている。 ・ 各単元ごとに，身に付ける国語の力が「言葉の力」で整理され，巻末に「言葉の力のまとめ」がある。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
11 学図	(1)－① 単元構成と配列 (1)－② 教材選択と構成 (1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の上巻は入門期の教材配列と2単元、下巻は8単元。2年生上巻は7単元、下巻8単元、3～6年生は上巻5単元、下巻7単元で構成されている。 ・ 2年生以上の上巻巻頭に「学級作り」、下巻に「コミュニケーション」が設定されている。 ・ 3年生以上の説明文と5年生下巻の物語文では、「読むこと」の技能を習得させる教材がある。 ・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」には、「この単元の学習の流れ」が教材の最初に示されている。 ・ 「書くこと」では、創作の内容として、物語の続き話や4コマ漫画からの物語創作、随筆等を設定している。 ・ 「読むこと」領域では、「学習のてびき」に、学んだことを生かした表現活動が設定されている。
書名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の上巻でインデックス方式のページ構成を採用している。動物の顔を押さえると開きたいページを開くことができるようになっている。
みんなと学ぶ 小学校国語	(1)－⑤ 伝統的な 言語文化 (2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な言語文化に関する単元が、各学年に1単元ずつ設定されている。 ・ 「声に出して読む」など楽しむことをねらいとした教材が中心である。 ・ 「国語のカギ」「授業で使う言葉」で言語の知識や技能をまとめている。 ・ 巻末に、単元ごとに学習した漢字がまとめて示されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のつながりや発展を踏まえ、「書くこと」の単元における「演習学習材」や「読むこと」の単元におけるプレ教材が設定されている。 ・ 巻末に「保護者の方へ」が設定されており学習内容や身に付く力をまとめている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
15 三省堂	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年下巻は5単元，2年以上は10～11単元で構成している。2学期制，3学期制のどちらでも対応できるように，単元・教材の配列や領域の配分をしている。
	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」の教材には，児童の心を育てようとする教材や現代的な課題を扱った教材が選ばれている。 ・ 「書くこと」「話すこと・聞くこと」は，系列を設け，全学年で系列に沿って学習できるようになっている。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」では，教材の最初に学習のめあてを設け，教材末に学習活動を学習過程とともに示している。 ・ 手引きは，具体的な学習活動が提示してあり，それに基づいて学習が進められるようになっている。 ・ 随所に「覚えておきましょう」を設けて，基礎的・基本的な言語技能の定着を図っている。
書名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入門教材は，絵の中の人物の会話を想像したり，その後の物語展開を予想したりする構成になっている。また，1教材を見開き2ページで構成している。
小学生の 国語	(1)－⑤ 伝統的な 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読・暗唱を中心とした教材，自ら短歌や俳句を作る単元など，多様な学習を取り入れている。 ・ 全学年で，複数の領域の教材を通して伝統的な言語文化に触れている。
	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料集は，未習の漢字でも読めるようにすべての漢字にルビが振ってある。 ・ 「言葉のポケット」では各学年での学習内容を確認したり広げたりする内容になっている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書と別冊教材の2分冊。教科書は2～6年が年間1冊とし1年間の見通しがもてるようにしてある。資料集は学習技能や言葉に関する内容を掲載している。 ・ 全ての領域で「わたしの本だな」があり，作者やあらすじなどとともに参考図書を示している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1)－① 単元構成と配列 (1)－② 教材選択と構成 (1)－③ 学習過程への 配慮 (1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生上巻は入門期，下巻は10単元，2～6年生は，上・下巻それぞれ7～9単元の計14～17単元で構成されている。 ・各学年で「読む」と「読書」を関連させた単元が設定されている。 ・必要な学習事項を関連させ，系統的に繰り返し取り上げている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では，学習の流れとめあてが達成できたかの振り返りが示されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では，学習活動の例が具体的に示されている。 ・「読むこと」のてびきでは，教材のめあてやその達成に必要な学習が段階的に示されている。 ・初めのページが，岩の穴を覗くと熊がいるのが分かるようになっていて，児童が興味をもって教科書を開けるような工夫がされている。
書 名	(1)－⑤ 伝統的な 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は1単元，2年生以上は2単元ずつ昔話や俳句，短歌，古文，漢文などが取り上げられている。 ・言葉遊びや四季の言葉を味わう小教材も位置づけられている。
ひろがる言葉 小学国語	(2) 資料・その他 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にその学年で「読みたい本」が折り込みで紹介されている。 ・巻末の「この本で学ぶこと」で各巻の指導事項や学習用語がまとめられている。 ・学習のてびきの形式が全学年で統一され，めあて，読みの力を付けるための活動，付けた力を活用する活動，言葉の学習，関連図書の紹介の順に示されている。 ・ポスターやパンフレットの作品例など，言語活動の例が具体的に示されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
38 光村	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生 13 単元， 3・4年生 11 単元， 5・6年 9 単元で構成されている。2 学期制， 3 学期制どちらにも対応可能になっている。
	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年「本は友達」では，「知ろう」「読み物」「やってみよう」の流れで，言語活動の例が示されている。 ・ 「書くこと」では，3 年生以上で直前の説明的文章の学習とつながる教材が 1 つずつある。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年生以上の「話すこと・聞くこと」「書くこと」では統一した学習の流れが示されている。 ・ 「読むこと」の学習のてびきは見開きで，上段に読みの観点，下段に言語活動の進め方の例示がある。 ・ 3 年生以上の最初の説明的文章では，短い教材文での学習を生かして長い教材文を読む流れになっている。
	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年生の第 1 教材「さあ，はじめよう」では絵と大きな文字のページにより，国語学習につなげるつくりになっている。
書名		
国語	(1)－⑤ 伝統的な 言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年生以上では，「声に出して楽しもう」があり，古典の一節や，短歌，俳句を音読，暗唱できるようにしている。 ・ 高学年の巻末には全文が掲載されている。
	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末の「この本，読もう」で，当該学年の児童に薦める本がカラーで紹介されている。 ・ 2 年生以上では図書紹介や読み物だけでなく，その学年に応じた語彙を分類して提示してある。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭で前学年での学習内容や，これから学ぶ内容やポイントを領域別に示している。 ・ 巻末に「ふろく（学習を広げよう）」があり，ポイントの整理，本の紹介，読み物，学習した漢字が載っている。

2019年度使用小学校教科用図書研究報告

書 写

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の6種である。

2 東書 11学図 15三省堂 17教出 38光村 116日文

2 「書写」の教科書研究の観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市小学校の「書写」指導における課題・重点から

新潟市の書写指導における重要課題は「基礎的・基本的な内容の確実な定着」である。多くの子どもは、小学校入学以前にひらがなの読み書きをある程度習っている。しかし、正しく指導されないままに不適切な書き方をしている子どもも少なくない。小学校段階では、正しい筆順や文字の形など、書写指導にかかわる基礎的・基本的な内容について十分指導する必要がある。特に、毛筆については、「とめ」「はね」「はらい」など繰り返し指導することを通して、文字の基本を理解させたい。正しくきれいな文字が書けるようになることで、他教科の学習におけるノート学習にも意欲的になっていく。また、近年いろいろな筆記用具が用いられていることから、固定的な指導にとらわれない活動への工夫が必要である。

① 単元構成と配列

・単元の数や内容的な内訳、単元構成の仕方に見られる特徴 など

② 教材選択と構成

・取り上げた教材の内容や構成の仕方に見られる特徴 など

③ 学習過程への配慮

・「基礎的・基本的な内容の確実な定着」を意図して工夫されている点

・子どもの関心・意欲を引き出すために工夫されている点

・課題提示や学習の見通し、振り返り等、学習活動について工夫されている点

など

④ 入門期の特徴

・1年生の硬筆指導における配慮事項及び3年生の毛筆指導における配慮事項

など

(2) その他・資料

・巻末資料、本文中に使用されている挿絵や図表などに見られる特徴

・発展的な学習の取り扱いにおける特徴

・誰もが学びやすい構成や紙面作りへの配慮 など

(3) 全体的な特徴

・以上の観点から見た結果を総合してのそれぞれの教科書の特徴

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
2 東書	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生は4単元，3・4年生は8単元，5・6年生は7単元で構成されている。 ・ 全学年に「ノートに書こう」の単元がある。
	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活に広げよう」では，他教科や学校行事と関連する内容及び発展的な内容を示している。 ・ 毛筆の学習に入る前に，「調べよう」で硬筆の書き方について考えさせ，その後毛筆の学習に入っている。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生以上は「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の構成になっている。 ・ 毛筆は朱墨と薄墨で書かれており，筆の細かい動きが分かるようになっている。
書 名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生では運筆の基礎練習に2ページが充てられ，実物大の両手イラストによって，鉛筆の持ち方と手の置き方を確認することができる。 ・ 3年生では毛筆の姿勢，筆の持ち方，筆の部分の名前，用具の置き方と扱い方など，毛筆入門期に必要な技能や知識について，4ページで説明している。
新編・新しい書写	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年生では裏表紙裏に「しょしゃたいそう」が載っており，正しい姿勢と鉛筆の持ち方が示されている。 ・ 毛筆教材は128%に拡大すると半紙と同じサイズになる。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆教材の左側に既習事項を確認できるインデックスが付いている。 ・ 学習の後に振り返りの項目があり，1・2年生はシールで，3年生以上は○△で評価する形式である。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
1 1	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2・4年は9単元，3年は10単元，5・6年は7単元で構成されている。 ・ 点画のつながりを強調した教材配列となっている。
学図	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆教材を学習した後に，硬筆で書き込み練習をする構成になっている。 ・ 6年生の最後に毛筆の行書が発展として掲載されている。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朱墨で穂先の通り道を示した濃淡写真や連続写真がある。 ・ 練習用紙を自作できるよう，半紙原寸大の手本を基本とし，「かご書き」「ほね書き」などを紹介している。
書名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生でははじめにひらがなを，次に漢字，カタカナの順に教材が構成されている。3年生では，姿勢や用具の使い方などの毛筆入門期の技能や事柄を5ページで説明している。 ・ 3年生の毛筆では「十」を最初に取り上げ，よこ画とたて画を同時に学べるような構成となっている。
みんなと学ぶ 小学校書写	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に他教科や日常生活と関連する内容と発展的内容を示している。 ・ 筆づかいの解説欄は250%で拡大コピーをすると，半紙原寸大の手本となる。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆の2文字以上の課題はすべて，見開き2ページを縦にした見本が掲載されている。 ・ 目次や各単元のめあてを文字で簡潔に示し，キャラクターの絵を用いて，ポイントを示している。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
15	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年で4～5単元の大単元構成である。 高学年では、硬筆で様々な題材を書くことを重視し、それとの対応で毛筆が扱われている。
三省堂	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> 3年生以上のどの学年でも、毛硬両方を扱う学習内容になっている。 毛筆教材を学習した後に、硬筆で書き込み練習をする構成になっている。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに自己評価の観点を示し、○や✓で評価する様式になっている。 毛筆の課題で、部分的に穂先の通り道を朱墨で示している。
書名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> 「ゆびでなぞろう」で、手や指の運動を体得することから始めている。筆記具で書く前に指でなぞる活動が繰り返し取り上げられている。
小学生の書写	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> 3年生の毛筆入門期には、「毛筆学習のはじめに」として、5ページで書くときの姿勢と用具の扱い方、筆で書くときの約束を説明している。 毛筆の課題見本は、すべて左側のページに掲載されている。 単元のめあてや評価等を簡潔に示し、絵や色数が少なく、余白の多いレイアウトである。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆と硬筆が相互に関連するような学習過程となっている。 文字の練習以外に、全学年で他教科や日常生活と関連する内容を示している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1)－① 単元構成と配列 (1)－② 教材選択と構成 (1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生4単元，2年生3単元，3年生8単元，4・5年生7単元，6年生6単元で構成されている。 ・ 毛筆教材を学習した後に，硬筆で書き込み練習をする構成になっている。 ・ 4年生以上の学年で，課題選択の単元が担当されている。 ・ 単元の他に，横書きの書き方，はがきや手紙の書き方，発表会の資料などが示されている。 ・ 毛筆は，朱墨と薄墨に筆の連続写真を組み合わせた写真で筆圧や穂先の動きを示している。 ・ 右側に手本，左側にめあてからふり返りまで示され，見開き2ページで完結するようになっている。
書 名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の「じをかくしせい」「えんぴつのもちかた」で3ページ(折り込み)，線の練習に2ページを配当してある。また，1年生の教材は，「ひらがな」「カタカナ」「漢字」の順になっている。 ・ 3年生の毛筆入門期には，毛筆学習の基礎について9ページ配当している。
書 写	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生以上で，半紙原寸大の手本が1つずつ載っている。 ・ 巻頭に折り込みで姿勢，筆の持ち方，点画の種類，前学年のまとめ，学習のすすめ方がまとめられている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の初めと終わりに「ためし書き」「まとめ書き」で学習の成果を確認する構成になっている。 ・ 毛筆で学んだことを硬筆に生かして学習する構成になっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
38	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生6単元，2年生3単元，3年生6単元，4年生5単元，5年生3単元，6年生4単元となっている。 ・ 同社の国語教科書との関連ページが設定されている。
光村	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生以上のどの学年でも，硬筆と毛筆両方で構成している。 ・ 3年生以上の毛筆教材では，教材の文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題がある。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～6学年の巻頭に「学習の進め方」があり，児童が見通しをもって学習できるようにしてある。 ・ 毛筆では濃淡写真，連続写真で，筆圧や穂先の動き，点画のつながりを示している。
書名	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の最初の単元は折り込みページで，平仮名の筆順やマス目の使い方を示している。全体として，正しい筆順で書くと字形が整うことを示している。
書 写	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生の巻頭では用具の使い方，姿勢，筆の持ち方に6ページを充てている。児童が理解しやすいよう，写真が多く使われている。 ・ 巻末に日常生活や学校生活に役立つ書式の資料(手紙，原稿用紙，新聞，聞き取りなど)がある。 ・ 3年生以上は，字形を整えて書くための「字形の整え方」を設けてある。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に見開き，または1ページ単位で完結する構成になっている。 ・ 理解を助け，課題解決のヒントを与えるキャラクターなどがある。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116	(1)－① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生6単元，2年生5単元，3年生7単元，4～6年生6単元で構成されている。 ・ 各学年の第1単元は，前学年の復習教材になっている。
日文	(1)－② 教材選択と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆教材を学習した後に，硬筆で書き込み練習をする構成になっている。 ・ 「広がる学び」「もっと書こう」というページで，他教科や日常生活と関連する内容を示している。
	(1)－③ 学習過程への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆のすべての課題で，文字全体の穂先の通り道を朱墨で示されている。 ・ 「ここがポイント」で，書くときのこつを具体的に示している。
書名		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生では，正しい姿勢や鉛筆の持ち方に4ページ，線の練習に2ページを配当している。また，1年生の教材は，「ひらがな」「漢字」「カタカナ」の順になっている。
小学書写	(1)－④ 入門期の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生の毛筆入門期には，毛筆学習の基礎について9ページを配当している。
	(2) 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生以上で，原寸大の手本が1つずつ載っている。 ・ 5・6年生の巻頭の折り込みには，毛筆に関する道具の作り方や漢字の始まりなど，文字に興味を抱かせる資料が載っている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「なるほど書写教室」が各学年に設定され，毛筆の指導を硬筆に生かす構成になっている。 ・ 前学年の学習とのつながりを意識した構成になっている。

社 会

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の4種である。
2東書 17教出 38光村 116日文
- 2 「社会」の教科書研究の観点は、次の通りである。

- 新潟市の社会科教育の課題
- (1) 「標準的学力検査」結果などの様子から
 - ① 問題意識を醸成し、作業的・体験的な学習や問題解決的な学習の充実を図る。
 - ② 資料を基に、比較・関連付け・総合して考えたりするなど、社会的な見方・考え方の育成を図る。
 - ③ 自分の考えを自分の言葉で表現する活動（言語活動）の充実を図る。
- (2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から
 - ① 社会的事象の特色や相互の関連、社会的事象の意味の追求
 - ② 問題意識（関心・意欲）の醸成
 - ③ 作業的・体験的活動（観察・見学・調査）の充実と問題解決的学習の展開
 - ④ コンピュータ、地図や統計などの資料活用能力の育成
 - ⑤ 社会的事象の特色や相互の関連、意味の説明及び考えを論述する活動の充実
 - ⑥ 日常生活と関連付け、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力の育成

【研究の観点】

- (1) 単元の構成や配列、重点の置き方について
 - ① 教科書の規格（ページ数、判、紙質、見開き）について
 - ② 単元の構成・配列について
 - ③ 各単元の記述の量（重点）について
- (2) 教材の選択について
 - ① 本市の児童にとって、身近に関連のある教材の取扱いについて
 - ② 人権・同和教育の観点からの取扱いについて
 - ③ 我が国と郷土を愛する指導の観点からの取扱いについて
 - ④ 「社会参画」「法やきまり」などの指導の観点からの取扱いについて
- (3) 単元の内容構成について
 - ① 問題解決的な学習過程、作業的・体験的な活動への配慮について
 - ・課題提示の工夫・配慮について
 - ・学習方法についての工夫・配慮について
 - ・資料の読み取りや活用法の工夫・配慮について
 - ・思考・判断を問う記述や表現について
 - ② 言語活動・表現活動に関する配慮について
 - ・説明、まとめ方、考えの論述についての工夫・配慮
 - ③ 地図や地球儀の活用の取扱いについて
 - ・47都道府県の指導についての工夫・配慮
- (4) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について
 - ① 統計資料や写真・挿絵・図などの取扱いについて
 - ② 見出し、文字の大きさ、色彩、欄外の使い方について
 - ③ 用語や文字表現の読みやすさ、分かりやすさなどのユニバーサルデザインの点から
- (5) 全体的な特徴について
 - ① 以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書	(1) 単元の構成や 配列と重点の 置き方	<p>○総ページ数834（3・4年312 5年260 6年262）AB判6冊分。</p> <p>○3・4年上では「わたしたちのまち みんなのまち」に40ページを充て、身近な場所や人を入り口としている。</p> <p>○3・4年下では「火事からくらしを守る」と「地震からくらしを守る」の選択があり、目次と本編に明示してある。</p> <p>○5年下では「情報化した社会とわたしたちの生活」の大単元に40ページを充て、テレビ局の仕事や医療ネットワークについて事例を取りあげている。</p> <p>○6年下では「子育て支援の願いを実現する政治」と「震災復興の願いを実現する政治」の選択があり、目次と本編に明示してある。</p>
書名	(2) 教材の選択	<p>○3・4年上では「農家の仕事」と「工場の仕事」の選択があり、地域や学校の実態に合わせて選択できる。</p> <p>○3・4年下では「私たちの県」で新潟県佐渡市トキ小学生交流活動の写真の掲載がある。</p>
新編 新しい社会		<p>○5年上では「日本の気候の特色」で課題別の調べ学習の一つとして季節風を挙げ、日本海側の雪が多い地域として湯沢町を例示している。</p> <p>○5年下では、「わたしたちの生活と工業生産」の単元終末で、「持続可能な社会をめざして」について写真資料を活用し、エネルギー問題について述べている。</p> <p>○6年下では、国旗・国歌について1ページ取り上げている。(P103)</p>
	(3) 単元の内容構成	<p>○全学年で「つかむ」「学習問題」「調べる」「まとめる」の問題解決的な内容構成となっている。</p> <p>○全学年で学習問題の語尾は「～でしょうか。」に統一されている。</p> <p>○全学年で「学び方コーナー」を単元の各所に設けたり、「学習の進め方」のページを設けたりしている。</p> <p>○全学年で大切な用語を「ことば」として別枠にし、適宜説明を入れている。</p>
	(4) 資料の扱い方 やユニバーサル デザイン化 への配慮	<p>○全学年で、写真のキャプチャーに回数の番号がふってある。</p> <p>○学習問題などは、文節の区切りで改行している。図表は、色だけでなく、模様等でも行っている。</p> <p>○6年上では歴史年表が巻末にあり、見開き両面1ページ構成されている。項目数106、写真入りである。</p>
	(5) 全体的な特徴	<p>○単元末の「まとめ」のコーナーでは、多様なまとめ方を提示して、児童自ら学習を振り返ることができるようにしている。</p> <p>○豊富な地図や学習資料などを配置し、児童自ら比較して考えたいくなるような構成にしている。</p> <p>○3・4年では巻末に「ことば」の索引があり、5・6年では巻末に「ことがら」「地名」「国名」「人物」を一覧にして掲載している。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1) 単元の構成や 配列と重点の 置き方	<p>○総ページ数758(3・4年294, 5年232, 6年232)AB判6分冊</p> <p>○3・4年上は, 3つの大単元と6つの小単元で構成されている。</p> <p>○3・4年下は, 10の小単元が設定されている。全体で3つの選択単元がある。</p> <p>○5年下「広がる情報ネットワーク」では, 「地域を守る」と「防災に生かす」の観点で選択学習を設定している。</p> <p>○6年上は, 縄文時代から始まり11の中単元で構成されている。</p> <p>○6年下「暮らしを支える政治」では, 「子育て支援」と「震災復興」を選択学習にしている。</p>
	(2) 教材の選択	<p>○3・4年上は, 「店の仕事」でイトーヨーカドーを, 「工場の仕事」でしゅまい工場を, 「農家の仕事」で小松菜づくりを取り上げている。</p> <p>○3・4年下では, 新潟関連の記載はない。</p> <p>○5年上「低地のくらし」で白根郷の果実栽培と越後平野を, 「米づくりのさかんな地域」で南魚沼市を18ページ取り上げている。</p> <p>○6年下では, 国旗や国歌について1ページ取って掲載されている。</p>
	(3) 単元の内容構成	<p>○3・4年上では, 話し合い活動や調べ学習→学習問題設定(教科書に表示)→活動→まとめ→表現活動(深める)となっている。</p> <p>○3・4年下では, 「学習問題をつくり, 学習の見通しを立てよう」(つかむ調べる まとめる・深める)で問題解決の過程を示している。</p> <p>○5年では, 「〇〇さんのノート」としてまとめ方を示している。単元末に穴埋めの「まとめる」と発展的な「深める」「知りたい」のコーナーを設けている。</p> <p>○6年は, 各単元末に「まとめる」「もっと知りたい」を設け, 学習内容の振り返りと発展的な学びをできるようにしている。</p>
書名 小学社会	(4) 資料の扱い方 やユニバーサル デザイン化 への配慮	<p>○3・4年上は, ノート例, カード例など, 授業における児童の活動に即した記載がある。</p> <p>○3・4年下は, キーワードを39こ取り上げて解説している。巻末にチェック欄(□)つきで掲載してある。</p> <p>○5年では, 児童に疑問を抱かせるような写真資料が多く掲載されている。随所に解説のためのイラストが掲載されている。</p> <p>○6年上では, 歴史年表は巻末にあり, 見開き2枚片面で構成されている。項目数は102で写真はない。</p>
	(5) 全体的な特徴	<p>○単元末でキーワードを使ったまとめや「深める」で思考力, 表現力を高める工夫をしている。</p> <p>○巻末にキーワードを使った索引を掲載し, 学び方や地図などで学習を振り返ることができるようにしている。</p> <p>○地図や絵図, 写真資料などを比較して考えさせるような資料の配置をしている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
38 光村	(1) 単元の構成や 配列と重点の 置き方	<p>○総ページ数708(3・4年252 5年228 6年228)。5, 6年は上下巻の別はなく, 年1巻。AB版で大きく見やすい。</p> <p>○3・4年下の「すみよいらし」では, 水と電気を選択で扱っている。</p> <p>○5年「日本の国土とわたしたちのくらし」の大単元で48ページを充てている。山地のくらしと雪の多い地域のくらしを取り上げ, また低地のくらしと高地のくらし, 暖かい地域と寒い地域をそれぞれ選択で扱っている。</p> <p>○6年では, 3つの大単元と12の小単元で構成されている。</p>
	(2) 教材の選択	<p>○新潟県の事例として, 新潟市の1月の写真や自然災害大雪の地域・十日町市, 火焰土器の写真を掲載している。</p> <p>○6年で厳しい差別を受けた人々や全国水平社, アイヌの人々等を取り上げており, 巻末に日本国憲法前文の全文, 子どもの権利条約や国民の祝日一覧などの資料を掲載している。</p> <p>○3・4年上で, まちにある店としてイトーヨーカドーを, またものを育てたり作ったりする人たちとして農場の仕事と印刷工場を取り上げている。</p> <p>○5年で情報ネットワークと防災を, 6年で東日本大震災での支援活動を扱うなどして, 全学年で発達段階に応じて防災教育の視点を取り入れている。</p> <p>○6年では, 国旗・国家について1/2ページ取り上げられている。(P213)</p>
書名 社会	(3) 単元の内容構成	<p>○全学年で「ホップ(見つける)」「ステップ(調べる・話し合う)」「ジャンプ(まとめる・広げる)」で学習の流れを構成している。スピーチなど多様な言語活動を例示している。</p> <p>○各巻の巻頭で観察の仕方や調べ方, まとめ方, 問題解決的な学習の進め方について説明している。</p> <p>○単元のとびらの見開きページを大きな写真資料やイラストで構成し, 単元のイメージをもたせている。</p>
	(4) 資料の扱い方 やユニバーサル デザイン化 への配慮	<p>○重要な語句を「ことば」で, 資料の読み取り方を「たいせつ」の囲みで表している。</p> <p>○見て考えられる多様な写真資料やイラスト, 絵図を使用している。</p> <p>○文章量が少なく, 余白が多く取られていて読みやすく, 文章を読み取る抵抗感が少ない。</p> <p>○グラフ資料を赤や緑など鮮やかな色で彩色している。</p> <p>○巻末で, 索引やこれまでの学習で学んだ学び方がまとめられている。</p>
	(5) 全体的な特徴	<p>○単元末の「ジャンプ」では, 多種多様なまとめ方が例示されている。</p> <p>○統計資料がイラスト的に示されており, 子どもが特徴をとらえやすいような配慮, あるいは構成をしている。</p> <p>○巻末の「学習に役立てよう」では, 各学年の学習内容や調査方法などを示して, 子どもが学び方を身に付けられるようにしている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日文	(1) 単元の構成や 配列と重点の 置き方	<p>○A B判6分冊，総ページ数（3・4年308，5年228，6年252）</p> <p>○3・4年上では，「わたしたちの住んでいるところ」に46ページ充て，学校の周辺の様子を入り口としている。</p> <p>○3・4年下では，「住みよいくらしをつくる」で「ごみ」と「水」を扱い，「水」にかえて「電気」を選択できるようにしている。</p> <p>○5年下では，「工業生産とわたしたちのくらし」で阪神工業地帯を中心資料として扱っている。</p> <p>○6年下では，「わたしたちの願いと政治のはたらき」と「災害の発生と政治のはたらき」の選択がある。本編に選択の明示がある。</p>
書名	(2) 教材の選択	<p>○3・4年上では，「かまぼこ工場」か「れんこん作り農家」の選択があり，地域や学校の実態に応じて選択できる。</p> <p>○3・4年下で，新潟県に関する記述は特にない。</p> <p>○5年上「さまざまな土地のくらし」の気候では沖縄県を，地形では岐阜県海津市を取り上げて学習する。</p> <p>○6年下では，国旗・国歌について2/3ページ取り上げられている。(P75)</p>
小学社会	(3) 単元の内容構 成	<p>○全学年で各単元の最後に，大きくジャンプとして発展的内容を取り上げている。</p> <p>○全学年で学習問題の語尾は「～のだろう（か）」に統一されている。</p> <p>○全学年で「学び方・調べ方コーナー」を単元の各所に設けている。</p> <p>○全学年で大切な用語を「キーワード」として別枠にして，適宜説明を入れている。</p>
	(4) 資料の扱い方 やユニバーサル デザイン化 への配慮	<p>○全学年でグラフや地図については斜線やドットなどを入れ，誰もが見やすい色調になっている。</p> <p>○写真やイラスト，グラフなど大きさを変えてレイアウトしている。写真のキャプションがあり，場面が分かりやすくなるよう配慮している。</p> <p>○本文中のキーワードを太字ゴシックにして目立たせている。</p> <p>○1つ1つの写真資料や統計資料が，大きく掲載されている。</p>
	(5) 全体的な特徴	<p>○単元末に「ふりかえてみよう」のコーナーを見開き2ページで設けて学習の振り返り方を示し，作品を紹介するなどして子ども自らが学習を振り返られるようにしている。</p> <p>○学習資料・統計資料などを大きく掲載しており，子どもが読み取りやすい配慮がなされている。</p> <p>○巻末にキーワードや地名の索引が載っており，巻末資料は書き込みができるような構成になっている。</p>

社 会（地 図）

1 研究の対象とする検定済み教科書（地図）は、見本が送付されてきた次の2種である。

2 東書 46帝国

2 「地図」の研究の観点は、次の通りである。

- 新潟市の社会科教育の課題
- (1) 「標準的学力検査」結果などの様子から
- ① 地図や統計資料などを基に、比較・関連付け・総合して考えたりするなど、社会的な見方・考え方の育成を図る。
 - ② 索引を活用するなどして、調べたい地名などを自分の力で調べる力を高める。
- (2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から
- ① 地図帳への関心・意欲の醸成
 - ② 社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわりなどを調べる活動の充実
 - ③ 地図や統計資料などの資料活用能力の育成
 - ④ 索引の活用など、地図帳を自由自在に活用できる知識や能力の育成

【研究の観点】

(1) 単元の構成や配列，重点の置き方について

内容の分類，配列，量について

地図の見方を育てるための工夫について

47都道府県の構成についての理解を深めるための工夫について

新潟県に関連する事象の取扱いについて

(2) 単元の内容構成について

① 日本及び世界の一般図の扱い方

・ 縮尺は分かりやすいように配慮されているか

・ 選択した地域や国について

・ 地名の取り上げ方，文字・振り仮名の付け方，特色など，児童の発達段階に対する配慮について

② 日本及び世界の特殊図（人口・産業・資源・交通など）の扱い方

・ 取り上げている項目の地図，グラフの数について

・ 分布図やグラフの表し方について

(3) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について

① 索引の使いやすさについて

② 統計，資料の年度について

③ 日本や世界の国旗について

④ 発展的な学習内容について

⑤ 色彩について

⑥ 耐久性，判の大きさ，見やすさ・使いやすさについて

(4) 全体的な特徴について

① 以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書 地図 431	(1) 単元や配列, 重点 の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○総ページ数94 A4版 ○分類・配列について <ul style="list-style-type: none"> 「ながめてみよう日本のすがた」「日本の自然(地形)」(6p) 「日本の47都道府県」(2p) 「地図の活用・オリエンテーション的内容」(4p) 「日本とそのまわり」(1p) 「日本列島」(5p) 「日本の一般図(地方別 九州地方～北海道地方)」(32p) 「緯度・経度, 地球儀の活用」(2p) 「世界の一般図(ユーラシア・北極～オセアニア)」(10p) 「各種資料図(日本の自然・産業・貿易・歴史と文化)」(10p) 「自然の統計(日本・世界)」(2p) 「都道府県別の統計」(2p) 「世界の国別統計」「オリンピックとワールドカップ」 「世界の陸と海の面積」(2p) 「索引」(10p) 「日本の自然災害・災害を防ぐ工夫」(3p) 「世界全図・国旗」(3p) ○「地図の活用・オリエンテーション的内容」では, 縮尺の異なる3つの地図を例に, 方位・等高線・地図記号・縮尺を説明している。沖縄島の一般図を例に挙げている。 ○47都道府県は2ページを使い, 都道府県ごとに色分けをしている。特徴のある都道府県の位置や名称, 形をクイズで紹介している。 ○新潟県は, 中部地方の地図では切れているからか, 別ページに全体図を掲載している。
書名		
新編 新し い地図帳	(2) 単元の内容構成	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の一般図では, 土地利用と地形を色で表している。 ○日本の一般図では, 8つの地方別地図, 特に北陸4県を100万分の1, 4つの都道府県及び周辺を50万分の1の縮尺で掲載している。 ○地図上の地名を精選し, 建物や産業の記号を大きく示している。 ○歴史の学習内容が多い京都・奈良の中心部の地図は, 2ページを使い, 大きく取り上げている。 ○首都東京の地図を5万分の1の縮尺で3ページを用いて掲載している。 ○世界の一般図では, 扱う州と隣り合う州の位置が分かる。 ○日本の自然, 農・水産業, 電力・工業, 貿易, 歴史・文化に関する特殊図を掲載している。 貿易については, 輸出入の様子を一つの地図で示している。 ○日本の都道府県別統計資料は, 17項目ある。 ○世界の国別統計資料は, 8項目あり, 77か国分掲載している。 ○世界全図は正距円筒図法を用いている。
	(3) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○索引は1ページあたり4列あり, 「チェック欄」「マイインデックス欄」といった書き込む欄を設け, 字のポイントを大きく, また行間も広くしている。 ○地図の中の情報を精選し, 文字のポイント数を大きくしている。書体はUD書体を使用している。 ○光沢を押さえた色使いである。 ○世界の国旗は巻末にまとめて掲載している。
	(4) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○版が大きくなった分, 地図を前面に出し, 紙面に大きく掲載し, 関連する情報については特殊図としてまとめて掲載している。同じページに掲載する関連情報は精選されている。 ○統計ページで扱う項目は, 精選されている。 ○索引は, ポイントを大きく・行間をとるなどして, 10ページにまとめている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
46 帝国 地図 432	(1) 単元や配列, 重点 の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○総ページ数86 AB版 ○分類・配列について <ul style="list-style-type: none"> 「都道府県の区分」「日本の都道府県」(3p) 「宇宙からながめた日本列島」(1p) 「地図の活用・オリエンテーション的内容」(6p) 「日本とそのまわり」(2p) 「日本列島・南西諸島・沖縄島」(6p) 「日本の一般図(地方別 九州地方～北海道地方)」(32p) 「緯度・経度, 地球儀の活用」(2p) 「世界の一般図・国旗(アジア・オセアニア～南北アメリカ)」(12p) 「各種資料図(日本の自然・産業・歴史・貿易)」(7p) 「自然の統計(日本・世界)」(1p) 「都道府県別の統計」「おもな農産物・工業製品の生産」(2p) 「世界の国別統計」(1p) 「索引」(6p) 「日本の自然災害・災害を防ぐ工夫」(2p) 「世界全図」(2p) <p>○「地図の活用・オリエンテーション的内容」では, 同一地域を例に航空写真・絵地図・平面図で地図の成り立ちを説明したり, 地図の約束(方位・等高線・地図記号・縮尺)を説明したりしている。</p> <p>○47都道府県は3ページを使い, 都道府県ごとに色分けをしている。各都道府県の特徴を絵で表している。</p> <p>○「日本の一般図」の冒頭では, 新潟県の一般図を例に挙げ, オリエンテーション的内容を解説している。</p>
書名		
楽しく学ぶ 小学生の地 図帳4・5 ・6年	(2) 単元の内容構成	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の一般図では, 土地利用と地形を色・記号を組み合わせで表現している。 ○日本の一般図では, 8つの地方別地図を100万分の1, 5つの都道府県及び周辺を50万分の1の縮尺で掲載している。 ○地名を多く掲載している。平成の大合併以前の旧市町村名も掲載している。 ○京都・奈良盆地の地図の鳥瞰図を掲載している。 ○首都東京の中心部について, 鳥瞰図で掲載している。「現在」と「江戸時代」の地図をそれぞれ10万分の1の縮尺で掲載している。 ○「世界の一般図・国旗」では, 人々の生活等を画像で紹介している。 ○世界全図はミラー図法を用いている。 ○日本の国土, 産業, 歴史に関する特殊図を掲載している。貿易については, 輸出入の様子を二つの地図に分けて示している。 ○日本の都道府県別統計資料は, 23項目ある。 ○世界の国別統計資料は, 10項目あり, 85か国分掲載している。
	(3) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○索引は1ページあたり5列あり, 字のポイントが小さく, 行間もせまい。 ○「とめ」「はね」「はらい」が正しい書体を用いている。 ○色は5色使用し, 鮮やかな色使いである。 ○世界の国旗は, 世界の一般図のページごとに掲載している。
	(4) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の一般図では, 地方図に関連して, 鳥瞰図の特殊図を同じページに配置している。 ○統計ページで扱う項目は, 豊富である。 ○索引を6ページにコンパクトにまとめている。

算 数

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の6種である。

2 東 書	4 大日本	11 学 図
17 教 出	61 啓林館	116 日 文

2 「算数」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市小学校の「算数」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- 意欲的・主体的な学びを形成する指導の工夫
- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のための指導の工夫
- 数学的な思考力・表現力を育成するための指導の工夫

① 全体構成上の特徴（単元の構成，配列など）

- ・子どもの思考に沿い思考力を高める教科書全体の構成及び単元構成

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・主体的に学ぶための教材選択及び導入と展開の工夫
- ・意味理解や概念形成を図り，確実に習熟させる指導の工夫

③ その他の特徴

- ・学習活動を支援するその他の配慮事項

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 記述・表現

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して，それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	<p>(1)－① 全体構成上の特徴</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための配慮</p> <p>(1)－③ その他の特徴</p>	<p>○学習のつながりを児童が意識できるよう、単元ごとに関連する前後の学習を示している。</p> <p>○言語活動を重視し、児童が見通しと振り返りを意識することで学び方が分かる構成となっている。また、個人差に対応し、学び直しのできる構成となっている。</p> <p>○学習意欲を高めるため、「プロローグ」のページを設け、前学年における学習内容の想起や他教科との関連、及び生活場面等を取り上げている。</p> <p>○単元本文では、効果的、効率的に言語活動が取り入れられている。また、つまずきの原因や児童の苦手意識をもっている傾向を分析し、新たな教材を用いたり、ページ数を増やしたりして、丁寧な取り扱いができるよう工夫している。</p> <p>○PISA型読解力の育成を重視し、「算数をつかってやってみよう」「算数の目で見てみよう」のページを設けて、算数を活用する力を高める授業の取組を促している。</p> <p>○数学的な思考力・表現力を高めるため、学年に応じたノート指導のページを設け、これまでの学習を振り返ったり、自分の考えや友達の考えを比較したりして、今までの思考の流れを整理しよりよい考えに気付くことを促している。</p> <p>○幼・保、中学との連携に配慮している。1年では入学期を意識した配慮、6年では中学数学への繋がりを意識した配慮を行っている。</p>
書 名	(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化	<p>○問題やまとめの枠囲み、単語の途中での改行を避けた文節改行を行うなど、分かりやすく読みやすい工夫をしている。また、色調や配色などについて細部にわたった検討を行い、色覚特性への配慮を行っている。</p>
新 編 新	(2)－② 記述・表現	<p>○「新しい算数」の教材に準拠した無料ICT教材をホームページに用意し、コンテンツが用意されている箇所にマークを記載して、学習効果が上がるよう工夫している。</p> <p>○しっかりした書体で読みやすく記載し、また、国語科の指導に対応して漢字を配当学年から振り仮名付きで使用している。</p>
し い 算 数	(3)全体的な特徴	<p>○問題や解答例を見直したり、授業で想定されるノートを例示したりするなど、問題解決型授業を重視している。</p> <p>○難易度別の補充問題を設けたり、学び直しを促したりすることで、学習習慣の定着を図り、個人差に対応しながら学力を高めようとしている。</p> <p>○児童のつまずきやすい学習について、分析をもとにした対応を行い、基礎・基本を確実に身に付けることを重視している。</p> <p>○日常生活場面の活用、既習内容の整理、操作活動の充実等を行い、毎日の授業で活用する力を高めようとしている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
4 大日本	<p>(1) -① 全体構成上の特徴</p> <p>(1) -② 学習を成立させるための配慮</p> <p>(1) -③ その他の特徴</p>	<p>○各学年で分冊をやめ、1冊に合本を行っている。そのことによって、1年間の学習を見通すことができ、スパイラルで取り組めるようにしてある。また、目次の中に、どの学年のどの単元からつながっているのかが明確に示されていて、関連する既習事項が容易に分かる。</p> <p>○同じ領域の単元が続かないように構成することによって、学習内容の区切りを付けている。その単元の最初に振り返りができるページを設けることによって、既習事項を想起できるようにしている。</p> <p>○各学年の最初に、「算数の学び方」というページを設け、それぞれの学年に即した教科書の使い方や、自分のノートのまとめ方について丁寧に説明している。</p> <p>○導入の課題では、実際に教科書の中に自分の考えを書くことができるスペースを設けることによって、意図的に自分の考えをもてるようにしている。また、単元末に設定されているカエルマークの「ふりかえろう」では、自分の言葉で学びをまとめる場面が設定されている。</p> <p>○「算数たまたまばこ」の中の「生活のなかの算数」では、普段の生活や実際の場面を想起できる場面を採り上げ、単元の中で学習してきた内容を生かして取り組むことができる課題が配置されている。</p> <p>○児童が思考するために必要な技能を適宜押さえるために、コンパスの使い方や数直線の書き方などを、写真などを使って説明している。</p> <p>○周りの余白を減らす一方、文字を大きく配置させることによって圧迫感を減らし、よりゆとりをもって課題に取り組めるようにしてある。</p>
書名	(2) -① 教科書のユニバーサルデザイン化	○色覚の個人差を問わず色合いが見やすくなっていたり、文字のフォントが見やすく大きくなっていたりすることで、児童がより使いやすい構成になっている。
新版 た の し	(2) -② 記述・表現	<p>○関係を表す場面では、「アレイ図→テープ図」や「テープ図→数直線」というようにそこで使わせたい関係図だけではなく、複数の関係図を取り上げるようにしている。</p> <p>○「赤チーム」と表記するだけではなく、赤の赤白帽の絵がかかれていたり、「円周の長さを測る」と表記するだけではなく、実際に円周を測っている写真を載せたりして、提示されている場面を把握しやすい配慮がされている。</p>
い 算 数	(3) 全体的な特徴	<p>○各学年とも1冊に合本することで1年間の学習を見通すことができ、児童の学びがつながるようにしている。</p> <p>○数直線のかき方などを丁寧に押さえることによって、基礎・基本の確実な定着を図ろうとしている。</p> <p>○単元末の「ふりかえろう」で学習の中で分かったことを自分の言葉でまとめさせることによって、思考力を伸ばそうとしている。</p> <p>○普段の生活等で、学習したことを活用する力を育てようとしている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
11 学 図	<p>(1)－① 全体構成上の特徴</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための配慮</p> <p>(1)－③ その他の特徴</p>	<p>○児童の思考に沿い、単元構成を「学びの準備→導入課題→毎時間の展開→練習→力だめし」とし、「学びの準備」では、必要な既習事項が確認できる。また、活用問題等を精選して巻末にもってくることで、無理なく学習を進めることができる。</p> <p>○2年生以上の巻頭及び上の巻頭に、類推、帰納、演繹の3つの方法に関する数学的な考え方が、具体例と共に載っている。年間を通して、問題解決に必要な考え方が強調されている。</p> <p>○作図のスキルや計算のアルゴリズム、グラフのかき方等が、確実にできるように表されている。また、ドット図、テープ図、数直線、双数直線、4マス関係図などで、系統的な図の表示がなされ、図をかくことに習熟できるようになっている。</p> <p>○毎時間の終わりに、「確かめよう」と題して確認問題が設定されている。また、単元末に精選された問題がある。さらに、「力だめし」の問題には、チェック欄や、できなかった時のフィードバック表示もある。</p> <p>○単元の「導入課題」は、場面把握ができるように、身近な場面や活動からダイナミックな写真やイラストを使って導入されており、児童の学習意欲を高め、継続させていくような工夫がされている。</p> <p>○問題を解決する際に、既習事項に照らし合わせて、考えが吹き出しなどで表示されており、自分の考えをもちやすいように工夫されている。</p> <p>○毎時間のスタート問題が枠囲みで提示されており、時間の切れ目が分かるようになっている。また、算数で使ってきた考え方を中心に、中学校の学習につながる問題を精選し、別冊として取り扱っている。</p>
書 名	(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化	○どの児童にも理解できるようなスモールステップの問題を載せている。また、色覚特性に配慮した柔らかい色調になっている。
みんなと学ぶ小学校算数	(2)－② 記述・表現	○文字のポイントが大きく、読みやすいようになっている。 ○写真や図が大きく見やすくできている。
	(3)全体的な特徴	<p>○問題に対して児童がもつ考え方を重視している。テープ図や数直線などといった図的表現が系統的に使われることで、問題解決型の学習を進めていく上で配慮がなされている。</p> <p>○問題の質、量共に精選されており、授業でこれだけは身につけさせたい内容を、確実に身につけられる流れになっている。</p> <p>○単元内の流れが統一されており、問題と各単元の内容がリンクしていることから、自ら学習を進めることができる。また、3つの数学的な考え方を載せることで、思考の方法を意識的に身に付けさせることができる。</p> <p>○巻末にある「サポート」ページや文字、写真の大きさ、色調等、算数を苦手とする子どもや特別な支援を要する児童に配慮した構成になっており、無理なく学習を進められるようになっている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教 出	<p>(1)－① 全体構成上の特徴</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための 配慮</p> <p>(1)－③ その他の特徴</p>	<p>○他教科で使えるグラフや概数の単元などの指導時期を早めに置くことで、他教科で活用できるように工夫している。</p> <p>○単元の最初に「これまでの学習と新しい学習をつなぐ問題」のページを位置づけ、既習単元とのつながりを意識させている。また、5・6年生では学びのマップを巻末に位置づけ、これまでの学習とのつながりが分かるように工夫されている。</p> <p>○随所にコラムが用意され、意欲的な取組を促し、「ステップアップ算数」のページを設け、主体性を促す工夫がされている。</p> <p>○問題解決型学習の過程を大切にし、「学習課題」では「?はてな」、「まとめ」では「!なるほど」といった表現を用いて、どの過程か分かるようにしてある。また、児童のキャラクターに解決のための見通しを述べさせている。</p> <p>○「学びの手引き」のページでは、「ノートの書き方」などの学び方や「類比」「帰納」などの考え方といった学習方法を扱ったり、単元末の「まとめ」のページで学んだ内容を確実に振り返らせたりして、学んだことを活用できるような工夫がされている。</p> <p>○児童の言葉での話し合い場面を多く取り入れたり、数直線・式といった表現方法を児童の思考に沿って段階的に学べるようにしたりして、表現方法の獲得が主体的にできる工夫がされている。</p> <p>○「学んだことを使おう」のページでは、学んだことを実生活に生かす教材や今日的な話題を含む教材を取り入れている。5・6年生では中学数学の問題やコラムを取り入れている。実社会とのつながりを意識し、使うことを促す工夫がされている。</p>
書 名	(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化	○多彩な色が使われて、見やすくなっている。また、文字や枠などの教材同士の間隔も適当で見やすい作りになっている。
小 学 算 数	(2)－② 記述・表現	<p>○覚えるべき内容のところは強調文字と囲みの色を変えることで、大切さがはっきり分かるような工夫がされている。</p> <p>○「メモ」や「よくあるまちがい」などの補足情報を盛り込むとともに、「はってん」や「ステップアップ算数」のページを示すことで、児童の主体的な教科書活用を促す工夫がされている。</p>
	(3)全体的な特徴	<p>○児童の意欲を喚起し、自ら学び、学んだことを活用することを促す工夫がされている。</p> <p>○問題解決型の学習を重視し、その学習が実現できるような工夫がされている。</p> <p>○児童に分かりやすい言語活動や表現方法を扱うページを設けることで、思考表現の方法を獲得しやすいよう配慮がされている。</p> <p>○既習事項を単元の中で繰り返しふれ、スパイラルな学びを実現して基礎・基本を身につけさせる工夫がされている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
61 啓林館	<p>(1)－① 全体構成上の特徴</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための 配慮</p> <p>(1)－③ その他の特徴</p>	<p>○「本編」と「発見！算数島」のコーナーで構成されており、児童が一律に学習する内容と、その学習後に児童が自ら取り組むことのできる内容とに分けられている。</p> <p>○単元に入る直前に、「準備」というページがあり、関連する既習事項が取り上げられ、レディネスチェックができるようになっている。</p> <p>○単元の導入では、日常生活や既習内容と関連付けて、児童自らが課題意識や解決の見通しなどをもって学習に取り組めるような工夫がされている。</p> <p>○4年生以上では、「算数でよく使う考え方」として、類推的・帰納的・演繹的な考え方を巻末にまとめ、ページの右側に「にている」「きまり」「もどる」マークを示し、数学的な考え方が活用できるようになっている。</p> <p>○「一斉問題→個々が取り組む問題→練習問題」というステップを踏んだ展開になっており、理解をより深め、習熟を図るための工夫がされている。</p> <p>○「考えを広げよう、深めよう」という特設単元では、問題解決の際の有効な考え方や、図・表などの図的表現のかき方が系統的に取り上げられている。</p> <p>○幼・保・中との連携に配慮し、1年生では楽しい物語で展開したり、4年生以上で「数学へのとびら」のマークを付けて数学への興味を喚起したりする工夫がなされている。</p>
書名 わ く わ く 算 数	<p>(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2)－② 記述・表現</p> <p>(3)全体的な特徴</p>	<p>○多様な色彩が使用されているが、全体的に色調は落ち着いた。色だけで区別するのではなく、文字情報も付加されている。</p> <p>○各時間の主問題が枠囲みされていて、「めあて」と「まとめ」の表記があり、児童自身が見通しをもったり振り返ったりしながら、主体的に学習が進められるようになっている。</p> <p>○ページの下部に「もっと練習」「学びを生かそう」の表示があり、学習内容の習熟や活用の場面のページが明記されている。児童自身が理解度を確認したり、家庭学習等で取り組んだりすることができるようになっている。</p> <p>○児童の身近な事象や活動的な題材などを取り上げ、児童の興味関心を高め、主体的な学習を促す工夫がなされている。</p> <p>○「発見！算数島」や「もっと練習」のページでは、配当時間外や家庭学習等でも自学自習ができる問題が提示されており、教科書の自主的な活用を促す工夫がなされている。</p> <p>○問題解決型学習を重視して、筋道立てて考える力を伸ばす独自の特設単元を設定し、図や表を手がかりにして問題解決にあたらせることで、論理的な思考力の育成を図っている。</p> <p>○児童の思考に沿ったスモールステップの展開になっており、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように配慮されている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日 文	<p>(1)－① 全体構成上の特徴</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための 配慮</p> <p>(1)－③ その他の特徴</p>	<p>○習熟に時間を要する内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うなど、スパイラルな単元配列がなされている。</p> <p>○各単元とも、「準備問題→導入課題→毎時間の展開→確認・復習問題」という流れをとり、児童の思考に沿った丁寧な構成になっている。</p> <p>○単元の導入では、「単元アプローチ」のページを設け、既習事項の振り返り、操作活動、身の回りの観察などの多様な内容や場面が扱われ、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○多様な図のよみ方やかき方についてまとめた「よみとろう あらわそう」のページを低学年から設け、図についての系統的な指導により、児童の思考や表現を支援する工夫がなされている。</p> <p>○学習過程がスモールステップで構成され、「もう一度考えよう」で理解の確かめや学び直しを促すことで、各領域における基礎的・基本的内容の意味理解や概念形成を丁寧に図ろうとしている。</p> <p>○単元前に既習事項の定着度を確認する「次の学習のために」のページを、単元末に単元の学習内容の定着を図る「たしかめポイント」のページを設け、確かな学力の育成を目指している。</p> <p>○2年以降の上の巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」「算数ノートをつくらう」のページが設けられ、学習の展開例やノート例が紹介されている。</p>
書 名	(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化	○すべての文において読みやすい位置で改行がなされている。また、色調の違いによって区別させる問題や場面はさけるよう、配慮がなされている。
小 学 算 数	(2)－② 記述・表現	<p>○問題文やまとめは囲みのみ、重要用語やきまりなどは網目囲みの表示でそれぞれ統一され、他の箇所との区別がされている。</p> <p>○横長の紙面サイズを生かし、操作図やテープ図、数直線などの図が大きく掲載され、意味理解や思考を助ける配慮がなされている。</p>
	(3)全体的な特徴	<p>○横長のA B判サイズの側注を有効に活用し、問題解決の見通しを示すなど、児童の学習を支援する工夫がされている。</p> <p>○問題解決的な学習展開を基本に構成され、その手順や着眼点が4段階に整理されている。学習過程が具体的に示されることで、算数の学び方が身に付くように配慮されている。</p> <p>○理由や方法を説明する問題を充実させることによって、思考力や表現力の育成を重視している。</p> <p>○巻末に、補充問題や応用・発展の問題を取り扱った「算数マイトライ」のページを設け、児童の実態に応じた習熟が可能となるように配慮されている。</p>

理 科

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の6種である。
2東書 4大日本 11学図 17教出 26信教 61啓林館

- 2 「理科」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

- (1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- ア 見通しをもって観察・実験を行い、その結果をもとに考察し、問題を解決する力を育てる。
イ 問題意識を持続し、自ら追究し続ける力を育てる。
ウ 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と B 学力を育てる。

ア 「見通しをもって観察・実験を行い、その結果をもとに考察し、問題を解決する力を育てる」にかかわっては

- ① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。
② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。

イ 「問題意識を持続し、自ら追究し続ける力を育てる」にかかわっては

- ③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。

ウ 「基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と B 学力を育てる」にかかわっては

- ④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。

- (2) その他

- ① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ② 記述・表現

- (3) 全体的な特徴

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
2 東 書	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	<p>(1)ー①</p> <p>(1)ー①</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー④</p>	<p>算数の単元配列との関連を生かした構成になっている。また、天候に左右される単元配列に配慮がある。</p> <p>5年「ふりこ」の学習が最後の単元に配置され、5年で身に付けた条件制御の力を確かめる配慮がある。</p> <p>「問題」、「予想しよう」、「計画しよう」、「実験」、「結果」、「考えよう」、「まとめ」の学習活動の流れが適切に示されている。</p> <p>4～6年生で最初のページに学びの流れが示されていて、問題解決の過程を意識し、追究意欲の持続を図っている。</p> <p>発展的な読み物が多くあり、その内容が学習したことと日常生活とを関連させる物で、学習の生活化を図っている。</p> <p>単元末の振り返りが見やすくなっている。</p> <p>さらに、練習問題「たしかめよう」では、子ども自らが、振り返ることができるように、関連するページを明記している。</p>
書 名 新 編 新 し い 理 科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	<p>(2)ー①</p> <p>(2)ー②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、太くて大きな文字がとても見やすい。 ・識別しやすい緑色の線で課題解決の流れを示している。 ・全学年で教科書を縦に読み進めていくレイアウトで、学習のすすめ方に統一感がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・目次が裏表紙に単元別に示されている。3年生以外は、表紙を開くと領域別に単元が示されている。 ・実験に必要なものを明示し、チェックボックスで確認できる配慮がある。 ・写真がはっきりして見やすい物が多い。
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○巻末に実験器具の使い方をまとめて示してある上に、その実験器具が使われる場面のページが明記してあるなど、必要に応じて実験方法を確認するツールとして教科書を活用できる。</p> <p>○単元末の「たしかめよう」の中に、分かったことをまとめ、その根拠も含めて記述させる問題があり、活用力への対応を図っている。</p> <p>○いくつかの単元を関連づけて考える「学びをつなごう」のコーナーがあり、子どもの考えを深める効果がある。</p> <p>○実験方法の説明で、図や写真が大きく、説明文の文字が大きかったり大事なところを太字で強調したりするなど見やすくする工夫がある。</p> <p>○巻末に学年の内容に沿った付録が付いている。</p>	

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
4 大日本	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	<p>(1)ー①</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー④</p> <p>(1)ー④</p> <p>(1)ー④</p>	<p>5年「ふりこ」の学習が最後の単元に配置され、5年で身に付けた条件制御の力を確かめる配慮がある。</p> <p>課題「？」とまとめ「わかったこと」が対応しており、まとめが学習課題の裏ページになっているので、子どもの考える場を保障している。様々なマークで学習の流れを示したり、単元の中で子どもの問題意識を高めたりするような表記が多く、意欲を持続させることができる。単元末のまとめに、キーワード作文を出すなど、言語事項を重視した構成になっている。単元末の振り返りのページに学習した理科用語がまとめてあり、学習を振り返ったり知識・理解の定着を確認したりすることができる。3年「太陽のうごきと地面のようすをしらべよう」では、観察の見開き部分に方位磁針の使い方が示され、見通しをもって追究しやすくなっている。</p>
書名 新 版 た の し い 理 科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	<p>(2)ー①</p> <p>(2)ー②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを意識した文字遣いをしている。 ・目次が内容によって色分けされている等カラーユニバーサルデザインへの配慮がある。 ・マークを統一し、多用しているため字数を減らすことができる。 ・重要用語がページ脇に「大事なことば」として示され、知識の定着や指導に生かせる。 ・植物や動物の写真が多く、資料として活用できる。 ・絵が素朴で分かりやすくなるように配慮されている。
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○夏休み前に「自由研究」のページを設け、子どもの意欲を喚起している。</p> <p>○関連する資料（読み物も含む）が豊富で、キャリア教育の視点も含まれている。</p> <p>○植物や昆虫の学習では、シールを貼りながら植物や昆虫の体のつくりを確かめるようにしている。</p> <p>○学習のすすめ方が一番初めに提示しているので分かりやすい。</p> <p>○「問題・予想・計画・観察・実験・まとめ」について対応したまとめ方になっている。</p>	

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
11 学 図	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	<p>(1)ー①</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー④</p> <p>(1)ー④</p>	<p>5年生では「ふりこ」の学習が最初の単元に配置され、条件制御という問題解決の方法を身に付けさせる工夫がなされている。</p> <p>「？」(課題把握)、「予想」、「実験の計画」「観察・実験」「結果」「考察」「まとめ」の学習活動の流れが明確で分かりやすい。</p> <p>問題提示の後に、「話し合い」を位置づけ、予想や実験方法について考えるヒントを各所に示している。</p> <p>全学年で最初のページに学びの流れが示されていて、問題解決の過程を意識し、追究意欲を持続できるように配慮している。</p> <p>単元末のまとめが分かりやすく、教科書のどこに戻ればいいのか示してあるので、つまずきがあったときにすぐに教科書を見直して自分で確認できる構成になっている。</p> <p>まとめ「ふりかえってみよう」では、大事な言葉と出てきたページを示していて、知識・理解の定着を確認することができる。</p>
書 名 みんなと学ぶ 小学校 理科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	<p>(2)ー①</p> <p>(2)ー②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを意識した文字の大きさ、色遣いをしている。 ・目次は領域が分かるように色分けや解説があるなど、色遣いが統一され、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・全学年で教科書を縦に読み進めていくレイアウトで、学習の進め方に統一感がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・実験に必要なものを明示し、チェックボックスで確認できる配慮がある。 ・表現が簡潔で分かりやすくなっている。さらに、教科書の両端に大事な言葉を明記している。 ・各学年に著名な科学者の伝記が掲載され、読み物としても楽しめるようにしている。
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○課題解決の流れがページの端に示されている。見通しをもって学習できる構成になっている。</p> <p>○単元末の「活用しよう」で、子どもの追究意欲を喚起したり、分かったことを活用してまとめたりすることで活用力への対応を図っている。</p> <p>○ノート例の部分で、結果と考察を適切に記述しているため、学習の中でも考察の場面を意識できる。</p> <p>○問題解決の過程が子どもの思考の過程に沿うように単元構成され、問題解決能力を高めようとしている。</p> <p>○本文の中で、細かい実験の段階を示し安全への配慮がある。巻末にも実験器具の操作に関する資料を入れるなど、実験技能の基礎をきちんと整理している。</p>	

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
17 教 出	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	<p>(1)ー①</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー④</p>	<p>巻頭に、前の学年で学んだ内容を振り返ることができる場面を位置付け、子どもが獲得した知識を繰り返し用いることができる単元構成になっている。</p> <p>「はてな?(問題)」、「調べよう」、「調べた結果」、「結果から考えよう」、「わかった」の学習活動の流れが示されている。</p> <p>6年「水よう液」の学習で「水溶液に金属は溶けるか」を調べることを、子どもの興味をもたせるような事象提示から学習を進めている。</p> <p>各学年の巻頭に「学習の順序」と「〇年の学び方」を示し、問題を解決しながら科学的思考を身に付けさせる配慮がある。</p> <p>身近な事象から問題を作成し、そこから追究活動に入るなど、生活の中から問題を探ることができるよう配慮している。</p> <p>単元のまとめとしての「確かめ」は理科用語の穴埋めを入れ、知識の確実な定着に力点を置いている。</p>
書 名 未来をひらく 小学校理科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	<p>(2)ー①</p> <p>(2)ー②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを意識した文字遣いがされている。 ・「はてな?」「わかった」(赤)、「技能」(緑)、「発見」「資料」(青)など、色で内容を統一し、カラーユニバーサルデザインにも配慮している。 ・まとめなどは、目立つ囲みを付けるなど誰にでも読みやすくする構成にしている。 ・現代の日本人で学習と関係ある専門家からのメッセージを巻頭に紹介して科学に対する興味・関心を高めている。 ・教師が授業の手引きとして使うことができるように分かりやすい表現をしている。 ・見開きのページや写真を多く取り入れることで資料として使えるようにしている。
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○単元末の「学んだことを使おう」では、言語活動を充実させる説明活動を入れて活用力への対応をしている。</p> <p>○どの学年も安全の手引きが裏表紙に示され、安全に実験できるように配慮している。</p> <p>○夏休み前に「自由研究」のページを設け、子どもの意欲を喚起している。</p> <p>○学習の最初に「学習の繋がり」を設け、系統的に学習できるように構成している。</p> <p>○巻末に各学年の内容に合わせたミニ図鑑がある。</p>	

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
26 信教	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	<p>(1)ー①</p> <p>(1)ー①</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー②</p> <p>(1)ー③</p> <p>(1)ー④</p>	<p>長野県の気候に合わせた単元配列や長野県に関わる資料を豊富に入れ、地域に根ざした教科書作りになっている。</p> <p>算数の学習を意識し、算数の学習が終わってから理科の単元の学習に入るように単元配列を工夫している。</p> <p>全学年共通に、矢印のマークで学習課題を示し、見通しをもって追究できるように配慮している。</p> <p>学習のまとめは、子どものノート例に書いたようにして整理され、とても分かりやすく丁寧に記述している。</p> <p>学習課題と予想や実験、まとめを同じにページの中に入れることで、見開き1ページの中で1時間の学習を完結できるように配慮している。</p> <p>単元末の「まとめてみよう」では、子ども一人一人が自分の学びをまとめるようにしている。また、知識を定着させるため、説明が丁寧である。</p>
書名 楽しい理科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	<p>(2)ー①</p> <p>(2)ー②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字はユニバーサルデザインを意識したフォントを使用している。 ・目次はA領域とB領域で色分けをして表示し、カラーユニバーサルデザインに対応している。 ・子どもが親しみやすいキャラクターを登場させ、気付きや疑問、考えのヒントなどを示すレイアウトになっている。 ・イラストや説明の図は分かりやすくなっている。 ・ノートの例示が多く、結果の考察や結論を分かりやすくまとめている。 ・大事な理科用語をゴシック体で強調している。
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○夏休み前に「自由研究」のページを設け、子どもの意欲を喚起している。</p> <p>○教材として取り上げている物は、地元（長野県）の博物館の資料や身近な地域の写真を多く取り入れ、地域色を明確に出している。</p> <p>○まとめで子どものノート例を示し、結果の考察の仕方や結論の出し方を記述することで、知識を確実に定着させるように配慮している。</p> <p>○身近な物を使った実験を示し、子どもの興味・関心を高めている。</p> <p>○実験方法をイラストや図で分かりやすく示そうとしている。</p>	

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴	
61 啓林館	<p>(1) 新潟市小学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 教材選定や単元配列が新潟の地域性に合っているか。</p> <p>② 子どもが追究する課題が明確であり、課題と正対したまとめがきちんと示されているか。</p> <p>③ 問題意識が継続し、追究の意欲を持続できる単元構成になっているか。</p> <p>④ 問題解決の見通しや追究の手がかりとなる資料、学習の振り返りをするためのまとめが整っているか。</p>	(1)ー①	<p>算数の学習を意識し、算数で学んだことを理科で生かす単元配列や、天候に左右される単元の配列に配慮がある。</p> <p>学習課題と正対したまとめになるように、文言を整理しようとしている。</p> <p>問題解決学習の過程に沿って見出しがつけられているので、子どもが見通しをもって追究ができる。</p> <p>最初のページに学習のすすめ方が示されていて、問題解決の過程を意識し、追究意欲の持続を図ることができる。</p> <p>単元末のまとめに、「力試し」を設け、図表から必要な情報を読み取る問題を入れるなど、活用力への対応を行っている。さらに、別冊「ワクワク理科プラス」で教科書で学んだことを整理したり発展問題を用意したりと、学習の深まりと広がりが出るように配慮している。</p> <p>理科用語など、きちんと定着させたい内容を強調して表示している。また、単元の中だけでなく巻末にも索引で明示し、学習の振り返りをするために役立てている。</p>
書名 わ く わ く 理 科	<p>(2)ー① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2)ー② 記述・表現</p>	(2)ー①	<ul style="list-style-type: none"> ・文字はユニバーサルデザインを意識したフォントを使用し見やすくなっている。 ・色覚の個人差に左右されないようにカラーユニバーサルデザインを意識した作りになっている。 ・教科書を縦に読み進めていくレイアウトで、学習の進め方に統一感がある。
	(3) 全体的な特徴		<p>○別冊の「ワクワク理科プラス」で授業の導入や学習のまとめで言語事項への対応を入れている。</p> <p>○単元末に「まとめよう」を位置づけ、学習したことをきちんと整理する習慣づけを図っている。</p> <p>○理科用語を、「新しく学習した言葉」と「巻末索引」で確認でき、知識の確実な定着を図ろうとしている。</p> <p>○単元末に興味を広げさせるようなページを用意している。</p> <p>○問題の文やキャラクターの説明が、特別支援教育を意識し、意味改行に統一している。</p>

生活

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の8種である。
2東書 4大日本 11学図 17教出 26信教 38光村 61啓林館 116日文

- 2 「生活」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

- (1) 新潟市小学校の「生活」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- ・ 子どもの気付きを質的に高めるために、直接体験を重視した多様な学習活動を組織し、自立への基礎を養う。
- ・ 生活科改訂の趣旨、(2)「改善の具体的事項」を具現化した実践を目指す。
- ・ 新潟市の特色を生かして、身近の人々、社会、自然に繰り返しかかわらせる。

- ① 単元の内容

- ・ 子どもの気付きを質的に高めるような工夫はあるか。
- ・ 子どもの活動を広げたり、深めたりする工夫はあるか。
- ・ 扱われている内容や程度に偏りがないか。
- ・ スタートカリキュラムを意識した工夫はあるか。
- ・ 防災・安心・安全に配慮した取扱いをしているか。
- ・ 新潟市の実態に即した内容になっているか。

- ② 単元構成や配列

- ・ 児童の意識のつながりに配慮した単元構成になっているか。
- ・ 活動の見通し、振り返りがしやすい構成、配列になっているか。

- ③ 言語活動への配慮

- ・ 子どもの言語活動が充実する工夫がされているか。

- (2) その他

- ① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・ ユニバーサルデザインに配慮した工夫がされているか。

- ② 表現・表記と装丁

- ・ 子どもの興味関心を引き、活用しやすい資料が掲載されているか。
- ・ 子どもにとって、見やすく、伝わりやすく、使いやすい表現・表記や装丁になっているか。
- ・ 例示などは、子どもが新潟市の人、自然、社会にかかわることを想起しやすいか。

- (3) 全体的な特徴

以上の点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうであるか。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
2 東 書	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページのリード文に従って活動を進めるようにしていくと、気付きの質が徐々に高まり、ねらいに到達することができるようになっている。 ○子どものつぶやきが吹き出しに多く書かれていて、気付きの質が高まっていく様子が分かりやすく示されている。 ○生き物単元は上下巻どちらでも扱われ、昆虫を中心に飼育の仕方が丁寧に紹介されている。 ○スタートカリキュラムのページが充実しており、一日の流れや各教科の学習について写真で分かりやすく示してある。 ○各単元についての約束や、登下校で気を付けることが示され、安全にかかわる内容が充実している。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○主に内容のまとまりごとの大単元構成で、下巻の町探検単元のみ2つに分かれている。季節の流れを軸に、2年間を18の単元で構成している。 ○上巻は学校、通学路、家庭、身近な公園を主たる活動の場とし、下巻は身近な地域へと活動の場を広げるように配列されている。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を振り返り、気付きを多様な方法で表現する学習活動が充実している。また、子どもの発達段階に合ったものになっている。 ○身近な人々と交流し伝え合う学習活動例が、絵や写真に添えられた吹き出しを用いて明確に示されている。
書名	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○小単元やマーク、「やくそく」などの位置が、原則として固定されている。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
あたら らしい 生活 下 せい かつ 上	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○植物を実物大で描いた「ほんとうのおおきさずかん」が設けられており、色や形、大きさを比べたり、名前を調べたりできる。 ○切り離して携帯できる『ポケットずかん』を掲載している。 ○上巻の初めは平仮名のみ、夏休み以降から片仮名が使用されている。下巻は、第2学年までの配当漢字が、全て振り仮名をふって使用されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページのリード文に従って活動を進めるようにしていくと、気付きの質が徐々に高まり、ねらいに到達することができるようになっている。 ○季節の流れを軸に、2年間を内容のまとまりごとに18の単元で構成している。 ○活動を振り返り、気付きを多様な方法で表現する学習活動が充実している。 ○切り離して携帯できる『ポケットずかん』を掲載している。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
4 大日本	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページの右上のリード文に活動の内容が示してあり、学習の流れが分かるようになっている。 ○多様な学習材や活動例が載っていて、学習が深まったり広まったりするようになっている。 ○生き物単元では、上下巻ともに昆虫の飼い方について詳しく扱われている。 ○下巻の成長単元では、これまでの成長と進級に向けての内容が丁寧に扱われている。 ○安全についての内容が充実していて、登下校の注意点や危ないことから身を守る方法などが丁寧に紹介してある。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○季節に沿った大単元構成で、内容から見ると時系列に小単元を配置している。2年間を9つの単元で構成している。 ○人・社会・自然を生かした一体的な流れの中で、上巻「なかよし」、下巻では「はっけん」をテーマに単元を発展的に構成している。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な活動場面の写真を掲載し、それを活用した子ども同士の話し合いや伝え合いが活発になるように工夫されている。 ○語彙力や表現力を高めるため、「せいかつことば」として 多様な言葉や文を掲載している。
書名	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○写真を数多く掲載してあり、活動のイメージをもちやすい。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
たのしい せいかつ 上下 なかよし	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○ページ右端に、活動に即した資料や活動の発展につながるヒント等を示している。 ○上巻の初めは平仮名と振り仮名をふった片仮名、冬休み以降から第1学年の配当漢字が使用されている。漢字には、最初に出てきたときに振り仮名をふってある。下巻は、第2学年までの配当漢字が、最初に振り仮名をふって使用されている。 ○「がくしゅうどうぐばこ」で、様々なジャンルの資料を掲載している。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○学習が深まったり広まったりするように、多様な学習材や活動例が示されている。 ○季節に沿った大単元構成で、内容から見ると時系列に小単元を配置している。2年間を9つの単元で構成している。 ○ページ右端に、活動に即した資料や活動の発展につながるヒント等を示している。 ○語彙力や表現力を高めるため、「せいかつことば」として多様な言葉や文を掲載している。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
11 学 図	(1) -① 単元の内容	<p>○栽培単元では「あさがお」遊び単元では「車」といった代表的な例を挙げ、活動の見通しをもたせるとともに、活動の発展や気付きの質の高まりが分かるようになっている。</p> <p>○成長単元では、友だちとの関わりが多く扱われ、友だちと表現し合う中で気付きの質が高まる内容になっている。</p> <p>○上下巻ともに生き物単元の内容が充実していて、飼育の仕方が丁寧に扱われている。</p> <p>○スタートカリキュラムのページがあり、一日の流れが大きな見開きで分かりやすく示されている。</p>
	(1) -② 単元の構成や配列	<p>○上下巻とも、5つの活動領域「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」で大単元を構成しており、導入から終末までを連続して記載している。</p> <p>○各大単元が終了した後「きみならどうする」(巻末)にジャンプする構成で、日常生活で起こる課題を単元で学習したことを総動員して解決するコーナーがある。</p>
	(1) -③ 言語活動への配慮	<p>○多様な言語活動例が掲載されている。特に、身近な様々な人々とのかわり合いの例示が多い。</p> <p>○カードや手紙などの書き方や聞き方・話し方などについて、国語科と関連させ、「ものしりノート」や「学び方ずかん」で詳しく示している。</p> <p>○活動で子どもが感じ取る諸感覚について、擬音語や擬態語などを用いた表現が随所に用いられ、言語感覚を磨き、語彙力や表現力を高める工夫がされている。</p>
書名 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上・下	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<p>○活動が分かる見出しが大きく書かれている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。</p>
(2) -② 表現・表記と装丁	<p>○上巻巻末の「生きものずかん」で、季節ごとに身近な動植物を示している。下巻の栽培単元では、野菜の育て方をイラストで紹介している。</p> <p>○目次で、各単元がどの時期に行われるかを分かりやすく示している。</p> <p>○4人のキャラクターの言葉が、活動や気付きを促すようになっている。</p>	
(3) 全体的な特徴	<p>○国語科とも関連させ、書き方・聞き方・話し方などの基本的な学習方法が「まなびかたずかん」で分かりやすく示されている。</p> <p>○上下巻とも、5つの活動領域「探検」「遊び」「栽培」「飼育」「成長」で大単元を構成しており、導入から終末までを連続して記載している。</p> <p>○栽培・遊び単元では、活動の見通し、発展のさせ方や気付きの質の高まりが分かるよう、一つの代表的な学習材を扱っている。</p> <p>○活動のきっかけや気付きを促すように、4人のキャラクターを継続して登場させ、言葉にストーリー性をもたせている。</p>	

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
17 教 出	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページのリード文に従って活動を進めるようにしていくと、気付きの質が徐々に高まり、ねらいに到達することができるようになっている。 ○ページの右端に気付きの質を高めるための「はっけんヒント」がある。 ○ページの上部に各教科との関連が示されていて、子どもの活動を広げたり深めたりできるようになっている。 ○活動のページに、安全への配慮が絵や言葉で明記されている。 ○冬の遊びの単元では、新潟市の様子が掲載されているため、新潟市の実態に即した内容になっている。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○内容のまとまりごとの大単元構成（紙面上は、上巻の季節単元と下巻の町探検単元は季節ごとに分割して掲載）で、2年間を11の単元で構成している。 ○各単元末の振り返りが充実している。3段階で自己評価する「ふりかえる」、家族に伝える「おうちでチャレンジ」を設定している。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「おしゃべりたいむ」や歌、絵や写真に添えられた吹き出しで、子どもの発達段階に合わせた表現活動を例示している。 ○活動計画を立てたり考えを整理したりするときの多様な思考ツールを紹介している。
書名	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○小単元名やねらい、マーク、「はっけんヒント」などの位置が、原則として固定されている。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
たのしい せいかつ 上下 みんな なかよし	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の種や生きものの足などの資料写真をクイズ形式で提示している。 ○自己評価や家族に伝える振り返りが各単元末に設定されている。また、巻末の「せいかつかノート」には、学習したことを時系列で記入することができる。 ○キャラクター「ぐんぐん」の言葉が、活動や気づきを促すようになっている。
なかよし ひろがれ	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの活動を広げたり深めたりできるように、ページの上部に各教科との関連が示されている。 ○内容のまとまりごとの大単元構成（紙面上は、上巻の季節単元と下巻の町探検単元は季節ごとに分割して掲載）で、2年間を11の単元で構成している。 ○自己評価や家族に伝える振り返りが各単元末に設定されている。また、巻末の「せいかつかノート」には、学習したことを時系列で記入することができる。 ○活動計画を立てたり考えを整理したりするときの多様な思考ツールが紹介されている。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
26 信 教	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生き物単元が上巻から下巻にかけて3つの内容で構成されていて、うさぎやヤギとの出会いから飼い始めるまでと、毎日の世話、生きものとの思い出まで丁寧に扱われている。 ○下巻の栽培単元では、生き物単元で飼育しているウサギのえさに関連させて、育てる野菜を大豆としている。 ○七夕やお月見、冬至、正月などの行事が扱われ、季節の行事に関連した遊びや習わしを紹介している。 ○安全な登下校についての内容が丁寧に扱われ、雨の日の歩き方や雪の日の危険などについて掲載されている。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○時系列の単元配列で、2年間を31単元で構成している。 ○子どもの学校生活や行事、季節にあった学習活動になるよう考慮している。 ○地域に根ざした教材と直接体験、家族との伝え合い・支え合いを大切に単元を構成している。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習内容に合わせた、多様な表現活動例を掲載している。 ○子どもの生活に配慮し、日本の伝統文化や言葉を大切に表現を用いている。
書名 せい せい いか いか つ かつ 上 下 あ そ お よ ぞ か ら ぜ	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○内容ごとのマークが活動名に付いていて、右ページ上に表記されている。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○B5サイズの教科書である。 ○全て縦書き表記なので、国語科との関連が図りやすい。 ○節句や伝統行事・伝承遊びに関わる単元では、地域の特色を盛り込んだ切り絵が全巻を通して掲載されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科と関連した内容が扱われている。 ○子どもの学校生活や行事、季節に合った学習活動になるよう考慮している。 ○B5サイズ・縦書きの教科書である。 ○地域に根ざした教材と直接体験、家族との伝え合い・支え合いを大切に単元が構成されている。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
38 光 村	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入で多様な学習材を提示し、いろいろな活動が展開できるようになっている。 ○気付きを促すために、各単元に「どうすれば○○かな?」と問いかけるコーナーがあり、学習のヒントになっている。 ○飼育単元では、上巻は学級で飼育、下巻は個人で飼育する内容になっていて、活動を発展させている。 ○栽培やおもちゃの単元では、問題解決的に対象への気付きの質を高めるように工夫している。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○内容のまとまりごとの大単元構成で、2年間で13単元で構成している。 ○子どもや学校・地域の実態に応じて、始める時期や取り組む期間を柔軟に設定できるようになっている。 ○各単元は「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成している。子どもたちの思いや思考の流れを大切にしている。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に即し、活動内容や活動時間に応じたカードや発表方法などが数多く例示されている。 ○子ども同士が比べ合ったり話し合ったりする活動場面が多数掲載されており、子どもからの発話や子ども同士の話し合いが活発になるよう工夫されている。
書名	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○文字が大きく、少なめで、読みやすい。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
せい いかつ 上 下 みんな だいすき ともだち	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○短い言葉と視点が明確な写真で子どもの思考を促している。 ○上巻では、片仮名や漢字を使用せず、平仮名のみを使用している。下巻では第1学年の配当漢字のみを使用し、初めて出てきたときに振り仮名をふってある。 ○興味関心を引くイラストが効果的に使われている。イラストなので、自分の地域とつなげやすい。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの思いや思考の流れを大切にした「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で各単元が構成されている。 ○子どもや学校・地域の実態に応じて、始める時期や取り組む期間を柔軟に設定できるようになっている。 ○子どもからの発話や子ども同士の話し合いが活発になるよう、子ども同士の交流場面が多く掲載されている。 ○短い言葉と視点が明確な写真で子どもの思考を促している。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
61 啓林館	(1) -① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「つたえあおう」のページでは、分かったことや気付いたことをいろいろな人と交流する場面があり、活動が充実している。 ○スタートカリキュラムのページが充実していて、学校の行事や一日の流れ、遊び、登下校の仕方などが丁寧に扱われている。 ○発展的な内容を数多く例示していて、子どもの活動を広げる工夫をしている。 ○「こんなときどうしよう」として水色で囲み、課題を見付けたり、解決しようとしたりする視点を提示している。
	(1) -② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○内容のまとまりごとの単元構成で、2年間で19単元で構成している。 ○各単元が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「チャレンジ」の4段階構成になっている。 ○地域や学校や子どもの実態に応じた弾力的な活動計画が立てられるように、標準時数よりも余裕をもたせて時間を配当している。
	(1) -③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の種類や子どもの個性に応じて、豊かな表現力が身に付くよう、多様な表現方法が紹介されている。 ○カードは、子どもの発達段階に配慮して掲載されている。また、国語科の作文単元との関連が図られている。
書名	(2) -① 教科書 ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> ○ページ左上に、4段階構成の段階が明確に色やマークで示されている。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
わくわく いきいき せいせい いかつ 上下	(2) -② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊の「せいせい たんけんブック」は資料が充実しており、A5サイズで持ち出しやすい。 ○読みやすさに配慮し、本文の文章は全て文節で改行されている。 ○活動に必要なスキルを上下巻末の「わくわくずかん」で示し、活用できる場面に「わくわく」の文字とページを記載している。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○分かったことや気付いたことをいろいろな人と交流する場面が多く掲載されている。 ○内容のまとまりごとの単元構成で、2年間で19単元で構成している。 ○各単元が「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「チャレンジ」の4段階構成になっている。 ○別冊の「せいせい たんけんブック」は資料が充実しており、A5サイズで持ち出しやすい。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
116 日 文	(1) - ① 単元の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページのリード文に従って活動を進めるようにしていくと、気付きの質が徐々に高まり、ねらいに到達することができるようになっている。 ○教師の働きかけが多く書かれており、気付きの質を高めるための支援が分かりやすい。 ○多様な学習材や活動例を紹介している。 ○スタートカリキュラムのページが充実していて、一日の流れや登下校の仕方、学習の約束などが詳しく丁寧に扱われている。 ○安心・安全のページが充実している。
	(1) - ② 単元の構成や配列	<ul style="list-style-type: none"> ○主に内容のまとまりごとの大単元構成。上巻の季節単元のみ春夏・秋・冬と3つに分かれている。2年間で12単元で構成している。 ○授業の流れを重視した課題解決型学習になるように、単元を構成している。
	(1) - ③ 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習内容に合わせた、多様で豊富なカードや作品例を紹介している。 ○絵や写真に添えられた言葉で、多様な表現活動を促すことができるようになっている。
書名	(2) - ①	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の内容に合わせたマークを各見開きページに配している。 ○カラーユニバーサルデザインで、色使いに配慮がされている。
わたしたちとせいかつ 上・下	教科書 ユニバーサルデザイン化	
	(2) - ② 表現・表記と装丁	<ul style="list-style-type: none"> ○読みやすさに配慮し、本文の文章は全て文節で改行されている。 ○1ページに写真や絵など、豊富な情報が盛り込まれている。 ○「なんでもずかん」には、植物や生き物等の資料の他に、発展的な内容も掲載している。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○気付きの表出につながるよう、ねらいに合わせたカードを使用している。 ○主に内容のまとまりごとの大単元構成。上巻の季節単元のみ春夏・秋・冬と3つに分かれている。2年間で12単元で構成している。 ○多様な学習材や活動例を紹介し、活動に広がりをもたせている。 ○授業の流れを重視した課題解決学習になるよう、単元が構成されている。

音 楽

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の2種である。

17教出

27教芸

2 「音楽」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市小学校の「音楽」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- 〔共通事項〕の位置づけを明確にした題材構成の工夫をする。
- 歌唱、器楽、鑑賞と関連させた「音楽づくり」の工夫をする。
- 思考、判断したことを表現する活動を通して、言語活動の充実を図る。
- 「学習課題」と「まとめ」を明確にした授業の構成をする。
- 音楽に対する思いや意図を表現する活動を通して、音楽を愛好する心を育てる。

① 全体構成上の特徴(単元の構成、配列など)

- ・教材の配列は適切であるか。
- ・系統的・発展的に組織されているか。

② 学習を成立させるための配慮(教科の目標を実現するための配慮など)

- ・児童の生活経験や興味・関心を生かし、自主的な学習活動ができるようにどのような工夫がされているか。
- ・基礎的・基本的な内容が定着するような配慮がされているか。

③ その他の特徴

- ・〔共通事項〕は、学習指導を進める上で、適切に扱われているか。
- ・児童の音遊びや音楽づくりの活動について適切に配慮されているか。

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 記述・表現

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
17 教 出	<p>(1) - ① 全体構成上の特徴</p> <p>(1) - ② 学習を成立させるための 配慮</p> <p>(1) - ③ その他の特徴</p>	<p>○題材内の教材は、関連的、対照的に配置してあり、表現と鑑賞の活動を効果的に組み合わせることによって、学習がより深まるように配慮されている。</p> <p>○年間の題材を習得、活用の2つの題材群で構成し、発展性を図っている。</p> <p>○低学年では音楽に合わせて遊びながら表現する活動を取り入れ、楽しく音楽に親しむことができるよう配慮されている。</p> <p>○主要題材では「学習のねらい」を紙面左上に示し、また、「活動のポイント」が明示され、児童が学習内容をとらえながら活動できるよう配慮されている。</p> <p>○各題材に〔共通事項〕を明記し、年間で偏りなく学習できるように配列している。また、巻末には「おんがくのものまとめ」として〔共通事項〕を掲載している。</p> <p>○音楽づくりは、音楽をつくることによって、音楽がどのようにできているかを知るきっかけとなるよう、歌唱、器楽、鑑賞と組み合わせて設定されている。また、各学年の発達段階に応じて、基礎的な表現の技能につながるように配列されている。</p>
書名	(2) - ①	○AB版で紙面が大きい。
音楽のおくりもの	(2) - ① ユニバーサルデザイン化への配慮	<p>○楽譜や文字が適度に大きく、また、鮮明で読みやすくなっている。</p> <p>○鮮明な写真や挿絵が適切に配置させており、全体を通して統一感のある紙面構成になっている。</p>
	(2) - ② 記述・表現	<p>○実物大の鍵盤ハーモニカや器楽演奏の手元写真など、児童が活動についてイメージできる写真やイラストを多く掲載している。</p> <p>○透明シートや両開きの折入ページなどで想像力が豊かになるように工夫されている。</p>
	(3) 全体的な特徴	<p>○見開きごとに学習のねらいを示し、児童が主体的に活動に取り組めるようにしている。</p> <p>○目次に題材群1（習得）、題材群2（活用）、選択可能なオプションに分けて示している。</p> <p>○4年生以上に、著名な音楽家からのメッセージを掲載し、音楽への関心を高めるように工夫されている。</p> <p>○4年生以上で「スキルアップ」として、授業の導入等で使える輪唱・合唱教材やリズム遊び等を取り上げている。</p> <p>○日本の伝統音楽や世界の音楽を多く取り上げ、様々な音楽表現の魅力を感じ取ることができるよう配慮している。</p> <p>○巻末折込には、楽器の奏法やリコーダーの運指を示し、児童自身が確かめながら演奏できるよう工夫している。</p>

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
27 教 芸	<p>(1) - ① 全体構成上の特徴</p> <p>(1) - ② 学習を成立させるための 配慮</p> <p>(1) - ③ その他の特徴</p>	<p>○系統性及び発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材を比較、関連付けさせながら組み合わせられていることによって、効果的な学習ができるように配列されている。</p> <p>○6年間を通して各学年の題材の配列を揃え、内容を系統的にとらえることができる。</p> <p>○低学年では歌遊びやリズム遊びを取り入れ、楽しく音楽に親しむことができるよう配慮されている。</p> <p>○各題材のページ上部に「この教材で何をするのか、何を学ぶのか」がはっきり分かるように示されており、児童が学習の見通しを意識できるよう配慮されている。</p> <p>○〔共通事項〕を核に題材を構成し、表現、鑑賞の活動が相互に関連・発展している。また、捉えさせたい〔共通事項〕を吹き出しや活動文で繰り返し示している。</p> <p>○音楽づくりは、各学年の発達段階に応じて系統的に構成されている。題材内で歌唱、器楽、鑑賞と関連し、思いや意図をもって音楽づくりの学習に取り組めるようになっている。また、児童が主体的に取り組めるよう、学習のねらいや活動の手だてが示されている。</p>
書名	(2) - ①	○AB版で紙面が大きい。
小学生の音楽	ユニバーサルデザイン化への配慮	<p>○区別ししやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えている。</p> <p>○イラストや写真は、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインになっている。</p>
	(2) - ② 記述・表現	<p>○活動の手順や演奏の仕方を写真や絵で分かりやすく示している。</p> <p>○全学年で学習の手助けとなるヒントをキャラクターの吹き出しで示している。</p>
	(3) 全体的な特徴	<p>○教材毎に学習目標と学習活動を示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○目次に各題材の内容とねらいを具体的に示している。</p> <p>○3年生以上の巻頭に、音楽を様々な観点からとらえることができる「音楽プリズム」を掲載している。</p> <p>○3年生以上の巻末に鑑賞教材と関連し「音楽の歴史をつくった人」を掲載している。</p> <p>○全学年を通して日本の音楽に関する題材を設定し、学年の発達段階に応じて我が国の音楽文化に親しみをもつことができるようにしている。</p> <p>○巻末には、鑑賞資料やリコーダーの運指表、振り返り事項をまとめて示し、児童が主体的に学習を進めることができるように配慮されている。</p>

図画工作

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の2種である。

9 開隆堂

116 日文

- 2 「図画工作」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(課題・重点等)

- 自分なりの思いや願いをもち、進んで造形的な創造活動を楽しむ子どもの育成
- 感性を働かせて、形や色、イメージを感じ取ることを大切にし、表現と鑑賞の一体化を図った学習活動の工夫

① 全体構成上の特徴(題材の構成、配列など)

- ア 目次の項目数・総ページ数
- イ 領域別の割合について
- ウ 表現題材の取り上げ方について
- エ 鑑賞題材の取り上げ方について

② 学習を成立させるための配慮(教科の目標を実現するための配慮など)

- ア 造形活動の魅力や楽しさを児童に感じさせる配慮
- イ 共通事項の取り扱いについて
- ウ 言語活動との関連について
- エ 他教科・領域との関連について

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 記述・表現

- ア 作品例や写真の数や特徴
- イ 説明図、説明文の特徴

(3) 全体的な特徴

- ア 教科書名、副題
- イ 表紙・装丁等について
- ウ 用具・技法について
- エ その他

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
9 開隆堂	(1) - ① 全体構成上の特徴	<p>ア 目次の項目数は、27～28(1・2年)、22～27(3・4年)、23(5・6年)、総ページ数は46～48ページ。</p> <p>イ 造形遊び 13%(1・2年)、11%(3・4年)、9%(5・6年) 絵に表す 32%(1・2年)、33%(3・4年)、33%(5・6年) 立体に表す 6%(1・2年)、7%(3・4年)、9%(5・6年) 工作に表す 29%(1・2年)、33%(3・4年)、32%(5・6年) 鑑賞 20%(1・2年)、16%(3・4年)、17%(5・6年)</p> <p>ウ 題材について「大きめの写真」と「製作の過程」を示し、題材名・ねらい・初発の発問として適当な「言葉の投げ掛け」がされている。題材の見通しをもって製作に臨める。</p> <p>ウ 身近な材料を使った活動が紹介されている。特に、1・2年上下ではお花紙等を使った題材が多い。</p> <p>エ 鑑賞「小さな美術館」では、国内外、時代を問わず広範囲から取り上げられ、見る視点となる問い掛けが設定されている。</p> <p>エ 表現活動後、鑑賞活動を紹介したり、鑑賞活動後、名画を模写して発想を広げる表現活動を紹介したりしている。</p>
書名 図画工作 わくわくするね 1・2上 みんなおいで 1・2下 できたらいいな 3・4上 思いをこめて 3・4下 心をつないで 5・6上 ゆめを広げて 5・6下	(1) - ② 学習を成立させるための配慮	<p>ア 「ゆめをかたちに」では、その学年で出会うことと関連のある活動をしている作家や作品が紹介されていて、児童の関心や意欲を高めようとしている。</p> <p>ア 材料や表し方、製作の過程について、別枠でくくって示し、造形活動への意欲を高めている。</p> <p>イ 「形と色でショートチャレンジ」や「パレットコーナー」で、形や色に関する内容を取り上げ、様々なものの見方や感じ方を紹介している。</p> <p>ウ 活動中の児童のつぶやきや友達とのかかわりの様子などを吹き出しや「 」で記したり、写真で紹介したりしている。</p> <p>ウ 題材の最後のページは、言語活動につながるような活動の振り返りをする視点が記されている。</p> <p>エ 巻末の「みんなのギャラリー」は、「みんなでいっしょに」「教室をとびだして」「伝統の技を学ぶ」というテーマで、共同製作の楽しさ面白さや、造形活動を地域や社会に発信したり生かしたりする姿、また、伝統から学ぶ技について紹介している。</p>
	(2) - ① 教科書のユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、題材名と育てたい3つの力（発想・構想、創造的な技能、関心・意欲）をマークで表し、大切にしたい目標が示されている。 題材で使用する主な「用具」「材料」をピンクと青で色分けし、目次の題材脇に示している。
	(2) - ② 記述・表現	<p>ア 作品数や写真数は、1題材につき4～18程度(1・2年)、5～18程度(3・4年)、10～19程度(5・6年)である。</p> <p>ア 児童の活動の様子や手順・技法、作品例を掲載している。</p> <p>イ 活動を促したり、思いを広げさせたりするような言葉掛けや発想・構想の手掛かりとなる吹き出しがある。</p>
	(3) 全体的な特徴	<p>ア 教科書名は、「図画工作」と黒字で示し、副題を大きく取り上げ、様々な材料や表現方法を駆使して描いている。副題の言葉は、活動への思いや願いを表している。</p> <p>イ 上の裏表紙には、「見つけたよ、すてきな形・色」として造形物の面白さ美しさについて、下の裏表紙には「つながる造形」として友達・環境・社会と造形の間について、写真で紹介している。</p> <p>イ 大きさは、A4判で、表紙は白を基調とし、平面作品の一部を大きく載せている。</p> <p>ウ 巻末の「道具箱」を2ページ設け、その学年で扱う用具の使い方を紹介している。技法は「パレットコーナー」や各ページで手元を拡大した写真や図で紹介している。</p> <p>エ タブレット型PCを活用した題材の紹介がある。</p> <p>エ デジタルカメラを使っていつも見えているものを接写し拡大して見るなど見方を変えて楽しむ題材がある。</p> <p>エ 5・6年上・下では、やや難度の高い技法がみられる。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日文	<p>(1) - ① 全体構成上の特徴</p> <p>(1) - ② 学習を成立させるための配慮</p>	<p>ア 目次の項目数は、25(1・2年)、24～25(3・4年)、22(5・6年)、総ページ数は58ページ。</p> <p>イ 造形遊び 18%(1・2年)、20%(3・4年)、11%(5・6年) 絵に表す 32%(1・2年)、31%(3・4年)、33%(5・6年) 立体に表す 18%(1・2年)、20%(3・4年)、22%(5・6年) 工作に表す 25%(1・2年)、24%(3・4年)、22%(5・6年) 鑑賞 7%(1・2年)、5%(3・4年)、11%(5・6年)</p> <p>ウ 児童の活動の過程の写真が織り交ぜられていて、造形活動の面白さを想像したり、感じたりすることができる。</p> <p>ウ 1・2年上下では粘土を使った活動が多く、5・6年上ではミラーシートなどの新素材を使った活動が紹介されている。</p> <p>エ 「教科書美術館」では、様々な作品や表現例などが紹介されていて、鑑賞につながるようになっている。</p> <p>エ ものや場所の見方を変えてかかわる造形活動を通して、身近にあるものの面白さや特徴等を捉えることができるようにしている。</p> <p>ア 副題に合わせたページを設け、題材での活動の様子を児童の姿全体や手元の動きの写真で紹介して、造形活動への関心を高めようとしている。</p> <p>ア オリジナルキャラクター「形や色のチーロさん」が各題材に登場して、活動のヒントを示したり促したりして、表現や鑑賞への見通しや意欲をもたせようとしている。</p> <p>イ 「ぞうけいのもり」や「形や色を楽しもう」では、自然物、地域や社会、身の回りにある造形物の図版資料等を載せ、形や色、イメージについて、見方や感じ方、考え方を育もうとしている。</p> <p>ウ 児童の活動や作品の写真には、自己内対話を思い浮かべるようなつぶやきや友達との対話が記されている。</p> <p>ウ 題材の最後のページには、「活動の後で」という活動を振り返ったり共感的な立場を感じたりすることができるように、男の子、女の子のマークと吹き出しが載っている。</p> <p>エ 3・4年上下、5・6年上下の「図画工作の広がり」では、人、もの、ことなどとのつながりについての活動事例を紹介している。</p>
<p>書名</p> <p>図画工作</p> <p>たのしい おもしろい 1・2上 1・2下</p> <p>見つけたよ ためたよ 3・4上 3・4下</p> <p>見つけて 広げて 5・6上 5・6下</p>	<p>(2) - ① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2) - ② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目次の題材名には、作品や活動の様子を写した写真を添え、色とマークで活動を分類して示している。 ・ 各題材のページ下部に、活動に必要な用具をイラストで示し、活動の準備を促している。 <p>ア 作品数や写真数は、1題材につき6～15程度(1・2年)、5～17程度(3・4年)、7～17程度(5・6年)である。</p> <p>ア 活動の見通しや様子が捉えやすいように、見開き2ページにわたって題材を紹介している。</p> <p>イ 活動を促したり、思いを広げさせたりするような言葉掛けや発想・構想の手掛かりとなる吹き出しがある。</p> <p>ア 教科書名は、「図画工作」。副題は、教科書名の上に小さく学年部ごとに発達段階に応じた活動の方向を言葉にしている。</p> <p>イ 裏表紙には、表紙の絵の説明が記載されている。1・2年上下と5・6年上下の裏表紙には、児童自身による書き込みや彩色を通じて、児童が形や色に関心がもてるようにしている。</p> <p>イ 大きさは、横A4判で縦がA4判より2cm短い。表紙は白を基調とし、平面作品の一部を大きく載せている。</p> <p>ウ 巻末に「使ってみよう材料と用具」を6ページ設け、その学年で扱う用具の使い方や描画技法について紹介している。</p> <p>エ インターネットの活用が載っており、情報モラルについて触れている。</p> <p>エ カードを使ったアートゲームが紹介されていて、楽しみながら名画・名作に親しめるような題材がある。</p> <p>エ 道徳の内容にかかわることのマークがあり、道徳との関連を図っている。</p>

家 庭

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の2種である。

2 東 書

9 開隆堂

- 2 「家庭」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

- (1) 新潟市小学校の「家庭」指導における課題・重点等から

衣食住などに関する実践的・体験的な活動や問題解決的な学習を通して
・自立の基礎を身に付けるための基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
・できる喜びを感じ、生活をよりよくしようと工夫する能力と態度の育成
を目指す。

- ① 題材の構成

- ・調理や製作などの実践的・体験的な学習活動に対する工夫や配慮はどうか。
- ・2年間を見通したストーリー性があり、基礎的なものから応用発展的なものへ、段階的に高まっていくように構成されているか。
- ・身に付けた基礎的・基本的な知識及び技能を、身近な生活に活用できるような工夫や配慮があるか。

- ② 学習を成立させるための配慮（課題設定・学習活動の組織・言語活動）

- ・家庭生活と結び付いた問題解決的な学習展開になっているか。
- ・題材のめあてを明確に示し、学習終了時に振り返りを促し、学習の定着の確認と生活に生かすための働きかけがなされているか。
- ・互いの考えを伝え合い、表現力を高める言語活動の場や「家庭科」特有の言語に対する配慮があるか。

- (2) その他

- ① ユニバーサルデザイン化

- ・男女共同参画の視点から配慮されているか。
- ・用語や文章表現の読みやすさ、図表や写真等の見やすさへの配慮があるか。

- ② 記述・表現

- ・デザイン・色づかい・レイアウト・装丁を工夫し、学習意欲を高めるようにしているか。

- (3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
2 東 書	<p>(1) - ① 題材の構成</p> <p>(1) - ② 課題設定への配慮</p> <p>(1) - ② 学習活動の組織への配慮</p> <p>(1) - ② 言語活動への配慮</p>	<p>○ 5年7題材 6年7題材の同数で構成されている。</p> <p>○ すべての題材が「見つめよう」「計画しよう 活動しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見付けよう」という3ステップで構成されている。</p> <p>○ 学んだことを深め、家庭実践を促す「自由研究」を長期休業に合わせて設定している。</p> <p>○ 各題材の最初に、「学習のめあて」が3ステップに沿って示されている。</p> <p>○ イラストの吹き出しで、学習課題のヒントを示している。</p> <p>○ 「Do! 活動」のコーナーで実践的・体験的な活動を促し、学習内容を生活に結び付ける具体的な方法例を示している。</p> <p>○ 「ふり返ろう」の欄を設け、学習を振り返り技能の定着が確かめられるようにしている。</p> <p>○ 「いつも確かめよう」を設け、必要な基礎技能をいつも確認できるようになっている。</p> <p>○ 調べたこと気付いたことを書き込むスペースが多く設けられている。</p>
書名	(2) - ①	○ 巻末資料「まねしてみよう」では、実物大写真を用い、左利きにも対応した配慮がある。
新 編 新 しい 家 庭 5・6	ユニバーサルデザイン化への配慮	○ 男女共同参画の視点から、家族が協力して家庭の仕事をするイラストが用いられている。
	(2) - ② 記述・表現	○ 本文と資料部分とを区別できるよう、囲みや淡い背景色を用いて見やすく工夫している。
	(3) 全体的な特徴	○ 実習の手順にイラストを多く用い、児童に手順をイメージしやすくしている。
		○ 「プロに聞く！」のコーナーを設けキャリア教育の視点が盛り込まれている。
		○ 「日本の伝統」のコーナーを設け、日本の伝統文化のよさに気付く配慮がある。
		○ 巻末の資料は大きな写真やイラストが多く、実習で必要なときにいつでも使える。また、写真が大きいいため、分かりやすい。

発行者 番号 略称	観 点	特 徴
9 開隆堂	<p>(1) - ① 題材の構成</p> <p>(1) - ② 課題設定への配慮</p> <p>(1) - ② 学習活動の組織への配慮</p> <p>(1) - ② 言語活動への配慮</p>	<p>○ 5年10題材 6年7題材と授業時数に応じた題材数で構成されている。</p> <p>○ 「生活を見つめ直す」「気付く」「考える」「調べる・話し合う」「分かる・できる」「生活に生かす・工夫する」という流れで各題材が構成されている。</p> <p>○ 家庭での実践を促す「チャレンジコーナー」を長期休業に合わせて設定している。</p> <p>○ 題材の最初に学習のめあてを示し、「調べよう」「話し合おう」「やってみよう」「考えよう」と問題解決型の学習が進められるように配慮されている。</p> <p>○ 「できたかな」の欄を多く設け、技能の定着を細かくチェックできるようにしている。</p> <p>○ 題材の終末に「ふり返ろう・生かそう」を設け、学習を生活に生かすよう促している。</p> <p>○ 必要な基礎技能について、手順ごとに写真で説明し、色帯をつけて見やすく示している。</p> <p>○ 一口メモコーナーを設け、家庭科で用いられる言葉への理解を深めている。</p>
書名 小学校 わたしたちの 家庭科 5・6	<p>(2) - ① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(2) - ② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○ CUD の認証があり、多くの児童に見やすいカラーユニバーサルデザインになっている。</p> <p>○ 家族が協力する様子に加えて、障害のある人や国籍が違う人へ配慮したイラストがある。</p> <p>○ 見開きで、色帯を用いて見やすくしている。</p> <p>○ 道具や材料、作業手順が写真で示され、実際の場面をイメージしやすくしている。</p> <p>○ 家庭科の内容ごとに色別されたインデックスが付いている。</p> <p>○ 「達人に聞きました」のコーナーを設け、キャリア教育の視点が盛り込まれている。</p> <p>○ 家庭科学習でよく使われる用語をまとめたページがあり、内容ごとの色分けがされ、一口メモとリンクしているものもある。</p> <p>○ 「消費」「環境」について、マークだけでなく、具体的な実践例を紹介している。</p>

保 健

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の5種である。

2東書 4大日本 207文教社 208光文 224学研

2 「保健」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市小学校の「保健」指導における課題・重点等から

○ 体育科の目標より

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

○ 新潟市教育ビジョン第3期実施計画より

- ・子どもが自らの健康に興味をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援する。
- ・子どもの頃から望ましい生活習慣を築くことにより、生活習慣病を予防するなど、健康教育の一層の充実を図る。

○ 新潟市の学校教育より

- ・保健・食に関する教育は、教育活動全体を通じて実践するとともに、専門性を有する養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・栄養士が参画した授業づくりを展開する。

○ 新潟市生活・学習改善調査より(平成29年度)

- ・毎日朝食をとる児童94.0%，睡眠時間8時間以上の児童85.9%（9時間以上45.7%）である。平成27年時の全国値を上回っていた新潟市の平均よりさらに高く、よい傾向である。

① 単元構成と配列

- ・単元の配列や構成の特徴は何か。
- ・発展的な内容、補的な内容の取り上げ方の特徴は何か。

② 学習過程への配慮

- ・課題解決的な学習が進められるようになっているか。
- ・日常生活で、実践しようとする意欲を促す工夫がなされているか。

③ 表現・イラスト

- ・用語や文章表現の読みやすさ、わかりやすさへの配慮はどうか。
- ・教科書のユニバーサルデザイン化（文字、カラー等）への配慮はどうか。
- ・統計資料、写真、絵、図等の取扱いの配慮はどうか。

(2) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうであるか。

発行者 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	(1) -① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年「けんこうな生活」 小単元4 (4時間) ・ 4年「育ちゆく体とわたし」 小単元4 (4時間) ・ 5年「心の健康」 小単元3 (3時間) ・ 「けがの防止」 小単元5 (5時間) ・ +発展的な学習「自然災害によるけがの防止」 (1時間) ・ 6年「病気の予防」 小単元8 (8時間) ・ 今日の課題である「防災・安全」について、発展的学習として2ページ(1時間分)設けている。「生活安全」「交通安全」「防犯」を重視し、「けがの防止」単元が5時間扱い(+発展1時間)になっている。
	(1) -② 学習過程への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つなげよう」の項目を設定し、他教科、他領域との関連を示している。 ・ 「学習活動」を「考えてみよう」、「話し合ってみよう」など分かりやすい言葉で明記している。また、単元末の「広げよう」では、幅広い知識の習得をねらっている。 ・ 1時間のはじめに「学習課題」を明記し見通しをもたせている。UDLの配慮があり新潟市の取組に合っている。 ・ 「記入欄」を設けることで、書く活動や記録の集積が可能になっている。まとめの場面だけではなく、学習過程においても記入欄がある。
書名 新編 新編 3 5 ・ ・ 4 6 新しい新しい いほけん い保健	(1) -③ 表現・イラスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横幅の広いサイズで黒板や PC, TV 画面と縦横の比率が似ている。新潟市が推奨する板書と紙面構成が似ていて、1時間の流れがつかみやすい。 ・ すべてのフォントがユニバーサルデザインフォントであり、教科書体と混在した感じがなく、また、カラーバリアフリーにも配慮している。淡い色合いである。 ・ 家庭との連携を視野に入れ、保護者へのメッセージが裏表紙に書かれている。
	(2) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ AB版を採用している。 ・ 見開きサイズがワイドでありながら扱いやすい。各ページとも過度に内容を盛り込んだ印象もなく、逆に余白も多くなく、バランスがよい構成である。板書に役立つ。 ・ 「学習をふり返ろう」では、知識・理解の習得内容の確認だけでなく、自分の生活を見つめ直し、生活改善を促すような工夫が見られる。 ・ 書き込み部分計93か所(3・4年32所, 5・6年61か所)

発行者 番号 略称	項目・観点等	特 徴
4 大日本	(1) -① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年「毎日の生活とけんこう」 小単元4 (4時間) ・ 4年「育ちゆく体とわたし」 小単元4 (4時間) ・ 5年「心の健康」 小単元3 (3時間) ・ 「けがの防止」 小単元5 (5時間) ・ 6年「病気の予防」 小単元8 (8時間) ・ 大単元の導入ページに、学習をナビゲートするゲームがあり、児童の学習への興味・関心を高めようとする工夫がされている。 ・ 単元の終わりには、理解したことを児童が生活の中で実践するために、書き込み式の活用場面を設けている。
書名	(1) -② 学習過程への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間の学習内容を見開き2ページで構成し、課題把握・発見→思考・判断・表現活動→まとめ→活用の流れで学習できるように構成されている。また、1時間の最初に課題を提示し、その時間の学習内容を明確にしている。 ・ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの場면을授業の流れの中に設け、児童の能動的な思考や判断を促すことによって、問題解決へ向かうように構成されている。 ・ 「まとめ」では、簡潔で分かりやすい本文や専門的な立場のキャラクターの言葉で示し、児童が学習内容の理解と定着をスムーズにできるように構成されている。
新編 3・4 新しいほけん	(1) -③ 表現・イラスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの場면을授業の流れの中に設け、児童の能動的な思考や判断を促すことによって、問題解決へ向かうように構成されている。 ・ 「まとめ」では、簡潔で分かりやすい本文や専門的な立場のキャラクターの言葉で示し、児童が学習内容の理解と定着をスムーズにできるように構成されている。 ・ カラーのユニバーサルデザインを使用し、できるだけ多くの人に見やすく分かりやすい紙面になるよう工夫されている。 ・ 理解を深めたり、発展的な学習につなげたりするための豊富な資料を「しりょう」として明示している。 ・ こどもや先生だけでなく、専門家（スクールカウンセラー、警察官、歯科医など）総勢10人のキャラクターを用いて、内容の科学的な説明や補足説明を行っている。
	(2) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5判を採用している。 ・ 大単元の導入に、学習をナビゲートするゲーム等があり、児童の学習への興味・関心を高め、見通しをもたせるための工夫がされている。 ・ 内容の理解に役立つ資料を「しりょう」として豊富に設けている。また、各単元の終わりに発展的な資料を「もっと知りたい!」として設けている。 ・ 書き込み部分計44か所（3・4年23か所、5・6年21か所）

発行者 番号 略称	項目・観点等	特 徴
207 文教社	(1) -① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・3年「毎日の生活とけんこう」 小単元4 (4時間) 4年「育ちゆく体とわたし」 小単元4 (4時間) 5年「心の健康」 小単元4 (4時間) 「けがの防止」 小単元4 (4時間) 6年「病気の予防」 小単元8 (8時間) ・大単元の導入のページは、今後の学習に見通しを持たせるような発問があり、イメージマップづくりや自己チェック表などを通して意欲を高める工夫がされている。 ・各小単元で「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」の項目があり、課題に対しての取り組み方を明確に示している。
書名	(1) -② 学習過程への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題に対して動機付けを行う」→「自ら考えたり調べたり、友達と相談したりして追究し、理解を深める」→「自分の生活に生かせるように意識付ける」の流れで学習できるように構成されている。 ・自分の考えを明確にする、これまでの経験を想起する、また、書き込んだ内容について友達と意見交換することができるように、教科書に直接書き込む欄が多く設けられている。 ・学習した内容に更に深まりや広がりを持たせるように「発展」の項目がある。
わたしたちの保健 わたしたちのほけん	(1) -③ 表現・イラスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の男女の子どもキャラクターが疑問や気付いたことを述べたり、児童に呼びかけたりするという設定になっている。また、紙面上の女性教諭や警察官が大事なポイントについて押えていく。 ・重要な文章や語句は全て色枠内、または太ゴシックで書かれていて、注視しやすくなっている。 ・全体的に淡い色合いのイラストが描かれており、UDLが配慮されている。
3・5 ・4・6 年	(2) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版を採用している。 ・児童が自分で書き込む欄が広く多く取られていて、学習に主体的に取り組めるように工夫されている。 ・5・6年ではAEDの情報やPTSD症状など近年、話題となる事項について取り扱っている。また、調べ学習の参考になる電話番号やURL情報が掲載されている。(3・4年1か所、5・6年10か所) ・書き込み47か所(3・4年17か所、5・6年30か所)

発行者 番号 略称	項目・観点等	特 徴
208 光 文	(1) 一① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年「けんこうな生活」 小単元4 (4時間) ・ 4年「育ちゆく体とわたし」 小単元3 (4時間) ・ 5年「心の健康」 小単元3 (3時間) 「けがの防止」 小単元5 (5時間) ・ 6年「病気の予防」 小単元8 (8時間) ・ 大単元の導入のページは、今後の学習に見通しを持たせるような発問があり、小さいころを想起させたりチェック表などを通して意欲を高めたりする工夫がされている。 ・ すべての小単元に「つかむ」コーナーと「あてはめよう」「見つけよう」「つたえよう」という学習活動が設定されており、学習の流れがつかみやすくなっている。
書名		
小学校 小学校保健 ほけん	(1) 一② 学習過程への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の中で基礎的基本的な知識や技能を習得させるために「つかむ」の項目があり、その後、学習したことをいろいろな場面に当てはめて考えさせている。また、3・4年では「今後どうするか見つける」、5・6年では「学んだことを生かして他の人にも伝える」などの流れで学習できるように構成されている。 ・ 自分の考えを明確にしたり書き込んだ内容について友達と意見交換したりすることができるように、教科書に直接書き込む欄が多く設けられている。 ・ 学習した内容にさらに広がりをもたせられるように「発展」の項目がある。
3 5 ・ 4 6 年 年	(1) 一③ 表現・イラスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二人の男女の子どもキャラクターが疑問や気付いたことを述べたり、児童に呼びかけたりするという設定になっている。また、保健室や学校医の先生や警察官が大事なポイントについて押えていく。 ・ 重要語句は太ゴシックで書かれたり、写真が多く使われたりし、わかりやすさへの配慮がなされている。 ・ 全体的にはっきりした色合いのイラストで描かれている。
けんこう つてすばらしい 見つめよう健康	(2) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ B5版を採用している。 ・ 学習の理解に役立つ写真やイラストなどの資料をどの単元も豊富に載せている。 ・ 5・6年ではAEDや新型インフルエンザの情報や自然災害等に対する安全教育面の事項について取り扱っている。また、参考になる電話番号やURL情報が掲載されている。(3・4年2か所, 5・6年21か所) ・ 書き込み60か所(3・4年17か所, 5・6年43か所)

発行者 番号 略称	項目・観点等	特 徴
224 学 研	(1) -① 単元構成と配列	<ul style="list-style-type: none"> ・3年「毎日の生活と健康」 小単元4 (4時間) ・4年「育ちゆく体とわたし」 小単元4 (4時間) ・5年「心の健康」 小単元3 (4時間) (4時間) 「けがの防止」 小単元5 (5時間) (4時間) ・6年「病気の予防」 小単元8 (8時間) ・各単元末に「学習のまとめ」を設け、自己評価や記述による学習の振り返りができるように工夫されている。また、今後の生活に生かすことをねらった項目も設定されている。 ・各単元に「もっと知りたい・調べたい」の項目を設け、食育や防災学習等児童の興味・関心に即した内容や現代的な健康課題を、発展的な学習内容として豊富に取り上げている。資料も豊富である。
書名		(3・4年6項目、5・6年13項目)
新・新 ・ み ・ み ん な の ほ げ ん	(1) -② 学習過程への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・全て1時間2ページで構成している。統一感のある紙面構成、分かりやすいマークなどにより、全体の流れを見通すことができ学習を進めやすい。 ・1時間の流れは、学習内容の明示→導人課題→実験・実習、共同で取り組む課題、事例を元に考える課題→まとめ→活用で構成されている。 ・1時間の学習や活用場面で、話し合い、記述、発表等の言語活動や実験・実習などの体験的な学習を随所に設けている。また、1時間の終わりに、「かつよう」という項目を設け、習得した知識を活用して今後の生活に生かすことを書かせるようになっている。
3・5 ・ 4 ・ 6 年	(1) -③ 表現・イラスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・活字が大きく、見やすい書体ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・視覚的にとらえやすいように、明るくきれいな色合いで、図解やグラフなどの色使いや示し方など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・子どもや先生だけでなく、専門家(養護教諭、栄養士、スクールカウンセラー、学校医、警察官、消防団員、救急救命士、歯科医、薬剤師など)総勢14人のキャラクターを用いて、内容の科学的な説明や補足説明を行っている。
	(2) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版を採用している。 ・「かがくの目」をはじめ、児童の興味・関心を高め、科学的な理解に結びつく「見えないものを可視化した写真資料」が多い。また、見やすく分かりやすい図解、丁寧な解説がある。さらに、5・6年では学習内容に関連したウェブサイトについても、各ページの下に紹介されている。 ・本文が少なく、随所に適度な空白を用いて、見やすい書面となっている。大切な言葉は太ゴシックで表して、分かりやすい。 ・書き込み68か所(3・4年28か所、5・6年40か所)

2019年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳）

新潟市教育委員会

教科・発行者の 番号・略称	使用 学年	教科書の記号 ・番号	書 名
道 徳 3 8 光 村	1	道徳135	どうとく1 きみが いちばん ひかるとき
	2	道徳235	どうとく2 きみが いちばん ひかるとき
	3	道徳335	どうとく3 きみが いちばん ひかるとき
	4	道徳435	どうとく4 きみが いちばん ひかるとき
	5	道徳535	道徳5 きみが いちばん ひかるとき
	6	道徳635	道徳6 きみが いちばん ひかるとき